

令和3年陸別町議会9月定例会会議録（第2号）

招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	令和3年9月8日 午前10時00分			議長	本田 学
	延会	令和3年9月8日 午後2時36分			議長	本田 学
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員	議席 番号	氏名	出席等 の別	議席 番号	氏名	出席等 の別
出席 7人 欠席 0人 凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す ▲○ 公務欠席を示す	1	中村佳代子	○			
	2	三輪隼平	○			
	3	久保広幸	○			
	4	谷 郁 司	○			
	6	多胡裕司	○			
	7	渡辺三義	○			
	8	本田 学	○			
	会議録署名議員	多胡裕司		渡辺三義		
職務のため議場に 出席した者の職氏名	事務局長 庄野勝政			主任主査 竹島美登里		
法第121条の規定 により出席した者の 職氏名	町 長	野尻秀隆	教育長	有田勝彦		
	監査委員	飯尾清	農業委員長（議員兼職）	多胡裕司		
町長の委任を受けて 出席した者の職氏名	副町長	早坂政志	会計管理者	本間希		
	総務課長	副島俊樹	町民課長	棟方勝則		
	産業振興課長	今村保広	建設課長	清水光明		
	保健福祉センター次長	丹野景広	国保関寛齋診療所事務長	（丹野景広）		
	総務課参事	高橋直人	総務課主幹	請川義浩		
教育長の委任を受けて 出席した者の職氏名	教委次長	空井猛壽				
農業委員会会長の委任を 受けて出席した者の職氏名	農委事務局長	瀧口和雄				
選挙管理委員会委員長の 委任を受けて出席した 者の職氏名						
議 事 日 程	別紙のとおり					
会 議 に 付 し た 事 件	別紙のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	58	令和2年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
3	59	令和2年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
4	60	令和2年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
5	61	令和2年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
6	62	令和2年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
7	63	令和2年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
8	64	令和2年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

◎開議宣告

○議長（本田 学君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（本田 学君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、6 番多胡議員、7 番渡辺議員を指名します。

◎日程第 2 議案第 58 号令和 2 年度陸別町一般会計歳入歳出決算
認定について

◎日程第 3 議案第 59 号令和 2 年度陸別町国民健康保険事業勘定
特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 4 議案第 60 号令和 2 年度陸別町国民健康保険直営診療
施設勘定特別会計決算認定について

◎日程第 5 議案第 61 号令和 2 年度陸別町簡易水道事業特別会計
歳入歳出決算認定について

◎日程第 6 議案第 62 号令和 2 年度陸別町公共下水道事業特別会
計歳入歳出決算認定について

◎日程第 7 議案第 63 号令和 2 年度陸別町介護保険事業勘定特別
会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 8 議案第 64 号令和 2 年度陸別町後期高齢者医療特別会
計歳入歳出決算認定について

○議長（本田 学君） 日程第 2 議案第 58 号令和 2 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第 8 議案第 64 号令和 2 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

野尻町長。

○町長（野尻秀隆君）〔登壇〕 議案第 58 号令和 2 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 59 号令和 2 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 60 号令和 2 年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 61 号令和 2 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案

第62号令和2年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第63号令和2年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第64号令和2年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第58号から議案第64号まで7件を一括して、別紙、監査委員の意見を付しまして、議会の承認を求めるものであります。

内容につきましては、副町長から御説明申し上げますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（本田 学君） 早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは私のほうから、議案第58号から議案第64号までの令和2年度の各会計の決算について、一括して説明をさせていただきます。

まず初めに、令和2年度の全会計の決算状況について説明をしたいと思いますので、議案説明書、資料ナンバー6を御覧ください。

この表は、令和2年度の決算書の各会計の実質収支に関する調書と符合するものでありまして、円単位で整理した表であります。

7会計の合計額は、予算額78億4,547万6,000円に対し歳入が74億9,702万4,162円、歳出が73億2,333万2,511円で、歳入歳出差引額は1億7,369万1,651円であります。翌年度に繰り越すべき財源は、一般会計のみでありまして、繰越明許費繰越額1,259万9,300円、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除きました実質収支額の合計額は1億6,109万2,351円であります。この中から、一般会計によって財政調整基金に7,000万円を積立てしまして、令和2年度に繰越しする額の合計は9,109万2,351円となっております。歳出の決算額の執行率につきましては、93.3%、予算額から繰越明許費の3億4,458万2,300円を除きますと、96.3%の執行率となります。

なお、複数の会計にまたがります議案説明資料としまして、平成30年度から令和2年度の基金別増減の状況が資料ナンバー7に、起債残高等推移が資料ナンバー8に、令和元年度と令和2年度の人件費の比較表が、資料ナンバー10の1と2にそれぞれつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次に、令和2年度の決算中、一般会計と直診会計の複数の科目において執行しました、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の実績について説明をいたします。

議案説明書、資料ナンバー11の1からを御覧ください。

この表につきましては、令和2年度において執行されました事業費を国の医療供給体制の整備等、感染拡大の防止等、地域経済の維持、住民生活の維持、この区分に振り分けをしまして、一覧表としたものであります。

議案説明書、資料ナンバー11の5の合計欄を御覧ください。

令和2年度に計上しました予算額につきましては、2億4,375万2,000円であ

ります。実際の執行額につきましては2億2,208万2,492円、この執行額に対し充当した国からの臨時交付金は1億8,426万5,000円、国・道からの補助金は1,773万4,466円で、一般財源につきましては2,008万3,026円となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症対応の中小企業経営安定資金利子補給と農業近代化資金利子補給につきましては、債務負担行為によりまして、後年度における一般財源の負担がございます。その額は2,290万5,707円となっております。実際の町の負担額につきましては、合わせまして4,298万8,733円となります。

この新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の関係は、各会計に影響しておりますが、三密の回避、外出自粛などの人流の抑制などが行われ、町内の各種行事、イベントなどが中止または規模縮小となり、全会計で約5,780万円の計上予算を減額するとともに、町内各施設の使用が著しく減少するなどしております。

また、歳出では経常的な経費におきまして、諸会議、研修会等の中止により、旅費や車両の借上料、参加負担金などの支出が減少しておりますが、これらにつきましては都度説明は省略をさせていただきますので、あらかじめ御了承をいただきたいと思います。

次に、令和元年度まで歳出の7節で計上されてきました賃金との関係であります。令和2年度から、会計年度任用職員制度の導入に伴いまして、7節賃金の科目がなくなり、パートタイムの分が1節報酬、フルタイムの分が2節給料、3節職員手当等、4節共済費で支出をされております。

次に、各科目における主要な事業についてであります。例年と同様、各会計の歳出の事項別明細書の左側の欄に枠で囲って掲載をしております。随時、御確認をいただきたいと思います。

なお、掲載項目の多いところでは、文字が非常に小さくなっております。非常に見にくくなっておりますが、御了承をいただきたいと思います。大変申し訳ありません。

それでは、これより議案第58号令和2年度陸別町一般会計歳入歳出決算についての説明に入らせていただきます。

まず、議案説明書、資料ナンバー12を御覧ください。

この資料につきましては、令和2年度繰越明許事業一覧で、令和元年度から令和2年度への繰越分であります。繰越事業の内容は、記載のとおりであります。合計では繰越予算額が3億4,923万1,000円、実績額が3億4,205万9,023円で、差引き717万1,977円の不用額となっております。

次に、資料ナンバー13を御覧ください。

この資料は、令和3年度繰越明許事業一覧で、令和2年度から令和3年度への繰越分であります。こちらも繰越事業の内容は記載のとおりで、繰越予算額の合計は3億4,458万2,300円であります。

それでは、これより決算書により順次説明をさせていただきますが、初めに説明資料から説明をいたしますので、決算書の137ページをお開きください。

137ページの説明資料、第1表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額63億2,920万2,000円、歳入の決算額59億8,955万8,770円、歳出の決算額58億5,054万5,304円、差引残額1億3,901万3,466円、歳出の執行率は92.4%であります。

なお、令和元年度からの繰越額及び執行額と令和3年度への繰越額を、予算額及び歳出決算額から除いた令和2年度の単年度分につきましては、予算額56億3,538万8,700円に対し、歳出決算額は55億848万6,281円となりまして、歳出の執行率は97.7%となります。

次に、第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款町税から合計までの科目ごとの令和元年度と、令和2年度の金額及び比率などにつきましては、表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計では、調定額59億9,255万9,589円。収入済額59億8,955万8,770円で、収入済額を前年度と比較しますと、10億5,920万6,206円の増となっております。このうち1款の町税につきましては、収入済額が3億4,071万2,424円、歳入に占める割合は5.7%で、前年度比1.4ポイントの減。不納欠損額は7万5,063円、収入未済額は292万5,756円あります。

次に、9款の地方交付税についてであります。収入済額は22億2,475万7,000円で、前年度に比べて4,433万9,000円の増、歳入に占める割合は37.1%で、年度比7.1ポイントの減であります。歳入には、町税や使用料、手数料などの自主財源と国や道の支出金などの依存財源がありますが、当町の自主財源につきましては、15億1,803万7,923円で、前年度より8,927万299円の増となっております。歳入に占める割合は、25.3%で、前年度比では3.7ポイントの減となっております。一方、依存財源は、44億7,152万847円で、前年度より9億6,993万5,907円の増となっており、歳入に占める割合は74.7%で、前年度比3.7ポイントの増。地方交付税の依存財源に占める割合は、49.8%となっております。

次のページをお開きください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款議会費から合計までの各科目ごとの年度間の金額及び比率については、表のとおりであります。令和2年度の歳出の合計では、支出済額58億5,054万5,304円で、前年度と比較しますと10億3,814万4,145円の増。翌年度繰越額は3億4,458万2,300円、不用額は1億3,407万4,396円、執行率は92.4%でありまして、前年度より1.6ポイントの増となっております。

続きまして、第4表、町税徴収実績表であります。

左側が現年度分、右側が滞納繰越分となっております。左側の現年度分の町民税、固

定資産税、軽自動車税、町たばこ税の合計は、調定額3億4,179万2,581円に対し収入済額が3億3,973万1,355円で、前年度と比較しますと775万4,652円の減。不納欠損額は1万8,700円、収入未済額が204万2,526円で、収納率は99.4%であります。右側の滞納繰越分では、調定額192万662円に対し収入済額が98万1,069円で、前年度と比較しますと75万7,198円の減。不納欠損額は5万6,363円、収入未済額が88万3,230円で、収納率は51.1%であります。

次のページをお開きください。

第5表、歳出の性質分析表であります。

この表につきましては、科目の款ごとに人件費から繰出金までを分類した決算統計上の数値を使用しておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思ひます。

なお、人件費、扶助費、交際費が、自治体の義務的経費と言われるものであります。この合計額につきましては、14億8,646万8,000円で、25.4%となっております。

次のページ、142ページは、第6表、最近5か年間の決算額調であります。こちらも、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

次に、143ページをお開きください。

第7表、地方消費税交付金の社会保障財源化分が充てられる社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費であります。平成26年度の決算から、消費税の引上げ分を社会保障の財源とする法律改正に伴って、義務化されたものであります。社会福祉、社会保険、保健衛生の事業の令和2年度の決算額の合計は8億1,946万2,000円で、その財源としまして国・道支出金が2億1,270万9,000円、地方債が1,610万円、その他7,774万円で、一般財源の一部として地方消費税交付金3,026万2,000円が充当されております。

以上で、説明資料による説明を終わります。次に、事項別明細書の説明を行いたいと思ひます。

9ページをお開きください。それでは9ページから始めます。

9ページ、歳入からの説明となります。事項別明細書では、細かい部分は省略しまして、大まかな説明とさせていただきますので、あらかじめ御了承いただきたいと思ひます。

1款町税からであります。町税関係の資料としましては、議案説明書資料ナンバー14の1と2に町税の調定収入状況調書、資料ナンバー15に十勝市町村税滞納整理機構への引継額、収納額、資料ナンバー16に税に関する不納欠損の内容がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思ひます。

決算書、10ページの上段を御覧ください。

町税の収入済額は3億4,071万2,424円、収納率は99.1%であります。これ

を令和3年3月31日現在の人口2,291人で割りますと、一人当たり14万8,718円で、令和元年度と比較しますと、907円の減ということになっております。

なお、この収入済額の中には、十勝市町村税滞納整理機構からの37件、34万9,368円が引き継がれて収納されております。不納欠損額は8件、7万5,063円、収入未済額は79件で、292万5,756円であります。

1項町民税、1目個人の収入済額1億1,579万7,364円のうち、現年課税分は1億1,505万8,405円、収入未済額7件、16万5,338円であります。滞納繰越分は73万8,959円で、このうち十勝市町村税滞納整理機構から28件、27万3,046円が引き継がれ、収納されております。また、不納欠損額は1件、363円、収入未済額は11件、51万8,218円であります。2目法人の収入済額は、現年課税分で1,453万500円、収入未済額はございません。

2項1目固定資産税の収入済額は1億7,656万8,334円のうち、現年課税分は1億7,638万1,012円、不納欠損額は1件、1万4,700円、収入未済額は22件、183万8,488円あります。滞納繰越分は18万7,322円で、このうち十勝市町村税滞納整理機構から5件、2万6,822円が引き継がれ、収納されております。また、不納欠損額は5件、5万6,000円、収入未済額は29件、32万5,400円。2目国有資産等所在市町村交付金の収入済額は、705万3,700円あります。

3項軽自動車税、1目環境性能割の収入済額は、現年度分で18万7,800円、収入未済額はございません。2目種別割の収入済額は、現年度分で673万3,000円、不納欠損額は1件、4,000円、収入未済額は3件、3万8,700円あります。次のページをお開きください。3目軽自動車税は、滞納繰越分で収入済額は5万4,788円、このうち十勝市町村税滞納整理機構から4件、4万9,500円が引き継がれ、収納されております。また、収入未済額は7件、3万9,612円あります。

4項1目町たばこ税は、現年課税分で収入済額は1,978万6,938円、前年度より14万6,451円の減となっております。

続きまして、2款地方譲与税1項1目自動車重量譲与税は5,461万7,000円。

2項1目地方揮発油譲与税は1,877万1,000円。

3項1目地方道路譲与税は、科目存置で、収入はございません。

4項1目森林環境譲与税は2,677万7,000円。

次のページをお開きください。

3款1項1目利子割交付金は26万1,000円。

4款1項1目配当割交付金は63万6,000円。

5款1項1目株式等譲渡所得割交付金は78万1,000円。

6款1項1目地方消費税交付金は5,860万2,000円で、社会保障財源化分が3,026万2,000円、その他の地方消費税交付金が2,834万円の内訳となっております。

ます。

7款1項1目環境性能割交付金は523万4,000円。

次のページをお開きください。

8款1項1目地方特例交付金は287万5,000円であります。

次の9款1項1目地方交付税は22億2,475万7,000円で、前年度と比較しますと、4,433万9,000円の増となっております。内訳としましては、普通地方交付税が19億9,969万5,000円で、前年度より4,508万円の増。特別地方交付税は2億2,506万2,000円で、前年度より74万1,000円の減であります。この地方交付税を3月末現在の人口2,291人で割りますと、1人当たり97万1,086円となりまして、前年度と比較しますと3万6,889円の増となっております。

10款1項1目交通安全対策特別交付金は、基準額に満たないということで未交付であります。

続きまして、11款分担金及び負担金1項分担金1目農林水産業費分担金は、農業競争力基盤整備事業に係る農業者の負担分、法人3件分で、1,211万4,197円であります。

次のページに移ります。2項負担金1目民生費負担金は、町外の養護老人ホーム入所者1名分、43万9,800円であります。

次に、2款使用料及び手数料1項使用料1目総務使用料、3,436万3,440円あります。1節行政財産使用料650万2,640円は、町有地及び庁舎、天文台交流センター、保健センターなど、公共の土地・建物の行政財産使用料であります。2節福祉等館使用料は5万4,600円、若葉生きがい交流館での葬儀による使用で2件分です。3節タウンホール使用料は1回分1万1,500円、4節ふるさと交流センター使用料は1,312万700円で、令和2年度は3,559人が宿泊をしております、前年度に比べて748人の減となっております。

なお、議案説明書、資料ナンバー19の1と2に、ふるさと交流センター管理費内訳とオーロラハウスの利用状況がつけてありますので、こちらは後ほど御覧をいただきたいと思っております。

5節銀河の森宇宙地球科学館等使用料は1,467万4,000円で、これは天文台とコテージ村を合わせた使用料になります。令和2年度の天文台の入館者数は4,797人で、前年度に比べて2,610人の減、コテージ村の利用棟数は637棟で、前年度に比べて231棟の減、稼働率は24.9%となっております。

資料ナンバー20と21に銀河の森天文台実績表、コテージ村利用実績がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次に、2目民生使用料669万9,760円あります。1節老人福祉使用料164万5,800円は福寿荘の使用料。2節児童福祉使用料464万160円は、陸別保育所への広域入所者5名分の保育料であります。3節福祉住宅使用料41万3,800円は、か

らまつハウスの使用料です。

3目衛生使用料は658万9,710円であります。1節保健衛生使用料221万4,620円は公衆浴場の使用料、220万1,120円が8,648人の利用で、前年度に比べまして487人の増となっております。また、墓地使用料が2件、3区画で1万3,500円となっております。2節水道使用料437万5,090円は、小利別地区の専用水道使用料で、給水人口は57人であります。

次のページ、お開きください。

4目農林水産使用料520万4,277円は、1節農林水産使用料が、農畜産物加工研修センターの使用料で9万8,500円、203回の利用となっております。2節の営農用水使用料は510万5,777円が、上陸別地区の給水人口で73人、254万3,661円、トラリ地区の給水人口が52人で、256万2,116円であります。

5目商工使用料は、1節公園使用料で、イベント広場の使用料1万3,910円。

6目土木使用料は6,527万7,858円で、1節道路橋りょう使用料243万1,813円は、道路占用料で19件分。2節河川使用料は24件、6万9,045円。3節住宅使用料は6,277万7,000円は、町営住宅・改良住宅・特定公共賃貸住宅の使用料であります。4節集会所使用料は、使用がございませんでした。

7目教育使用料は123万4,613円で、1節社会教育使用料4万7,313円は、公民館の陶芸室の使用料。2節資料館使用料は7万9,800円で、関資料館の入館料266名分。3節学童保育所使用料は110万7,500円で、登録児童の最大数は25名となっております。

2項手数料1目総務手数料1節総務手数料169万950円は、戸籍や住民基本台帳などの各種証明等の手数料。

2目衛生手数料761万1,780円につきましては、次のページを御覧ください。1節の衛生手数料は、ごみ処理、指定ごみ袋等の販売、畜犬登録などの手数料であります。2節水道使用料は、新設工事審査手数料など見込んでおりましたが、実績がございませんでした。

3目農林水産手数料は、1節営農用水手数料、営農用水の新設工事審査手数料1件分、8,000円であります。

続きまして、13款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費負担金1億3,272万3,872円であります。1節社会福祉費負担金9,210万3,316円は、障害者自立支援給付金等に係る負担金と介護保険の低所得者保険料軽減負担金、国民健康保険事業保険基盤安定負担金が含まれております。2節児童福祉費負担金4,062万556円は、児童手当に係る負担金、障害児介護給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金。

2目衛生費負担金は、1節保健衛生費負担金で、養育医療負担金7万4,520円あります。

2 項国庫補助金 1 目総務費補助金 1 節総務管理費補助金で、社会保障税番号制度導入整備補助金、地方創生推進交付金等、新たな事業としまして新型コロナウイルス感染症関係の特別定額給付金給付事業等の補助金、地方創生臨時交付金で4億3,163万4,612円。

2 目民生費補助金 608万1,000円は、1 節社会福祉費補助金、地域生活支援事業補助金 27万9,000円と 2 節の児童福祉費補助金では、子ども・子育て支援交付金と、新たな事業としまして、子育て世帯への臨時特別給付金事業補助金で580万2,000円であります。

3 目衛生費補助金 1,800万8,100円につきましては、次のページをお開きください。1 節の専用水道費補助金が、小利別地区農業水路等長寿命化防災減災事業に係る補助金 1,320万1,100円。2 節保健衛生補助金が、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保対策補助金 480万7,000円で、いずれも新たな事業の補助金であります。

4 目土木費補助金 8,993万1,000円は、1 節道路橋りょう費補助金で、橋りょう長寿命化修繕事業補助金 6,061万7,000円。2 節住宅費補助金が、公営住宅建設等の社会資本整備総合交付金 2,931万4,000円。

5 目消防費補助金 115万5,000円は、1 節災害対策費補助金で、河川事業に係る社会資本整備総合交付金であります。

6 目教育費補助金 4,698万2,000円は、1 節小学校費補助金 842万500円と 2 節中学校費補助金 531万2,500円で、いずれも公立学校情報機器整備等の補助金が主な内容となっております。

なお、このうち817万5,000円が、令和元年度から繰越明許費情報通信ネットワーク環境施設整備事業補助金となっております。3 節教育総務費補助金 3,324万9,000円は、教員住宅建設に係る学校施設環境改善交付金とスクールバス更新に係るへき地児童生徒援助費等補助金であります。

3 項委託金 1 目総務費委託金 23万1,000円は、1 節総務管理費委託金で、中長期在住者居住地届出等事務委託金などが含まれております。

2 目民生費委託金 153万6,414円は、1 節児童福祉費委託金、児童扶養手当特別児童扶養手当の事務委託金 5,793円。2 節国民年金費委託金 153万621円は、拠出年金事務委託金、協力連携事務委託金であります。

続きまして、14 款道支出金に移ります。次のページをお開きください。

1 項道負担金 1 目民生費負担金 8,050万1,596円です。1 節社会福祉費負担金 6,543万2,482円は、民生委員活動費等負担金のほか、先ほど国庫負担金でも説明しました、障害者自立支援給付費などに係る負担金であります。おおむね4分の1の負担率となっております。2 節児童福祉費負担金 1,506万9,114円も、先ほど国庫負担金で説明しました内容とほぼ同様でありまして、児童手当などに係る負担

金であります。2目衛生費負担金は、科目存置。

2項道補助金1目総務費補助金10万円は、防災備品等整備に係る地域づくり総合交付金であります。2目民生費補助金1,027万9,600円は、1節社会福祉費補助金が、乳幼児医療費などの各種医療費補助金のほかに、地域生活支援事業補助金などで695万6,600円。2節児童福祉費補助金が、子ども・子育て支援交付金などのほか、新型コロナウイルス感染症対策のひとり親世帯臨時特別給付金事務費補助金で332万3,000円。3目衛生費補助金59万9,047円は、健康増進事業補助金などで、例年同様の内容であります。4目農林水産業費補助金3億1,447万5,355円は、1節農業費補助金が2億7,959万7,521円で、農業委員会活動促進事業、中山間地域直接支払事業、農業競争力強化基盤整備事業、農業次世代人材投資事業などの補助金となっております。

なお、このうち2億1,749万9,000円が令和元年度からの繰越明許、畜産酪農収益力強化整備事業で、陸別町酪農畜産クラスター協議会への補助金となっております。2節林業費補助金の3,487万7,834円は、森林環境保全整備事業、小規模治山事業、林道東トマム高台線改良事業などの補助金であります。

続きまして、5目商工費補助金439万4,466円であります。次のページをお開きください。1節消費者対策費補助金60万7,000円は、地方消費者行政活性化交付金。2節商工費補助金378万7,466円は、秋に実施をしましたプレミアム商品券の発行事業に係る道のプレミアム分に係る10%の補助であります。

6目教育費補助金22万7,000円は、地域学校共同活動事業補助金であります。

3項委託金1目総務費委託金から次のページの5目土木費委託金までは、権限移譲などによる委託金であります。

1目総務費委託金723万1,823円は、1節総務管理費委託金が、北海道権限移譲事務交付金外2件で10万7,150円。2節徴税费委託金は、道民税徴収委託金で457万5,903円。3節戸籍住民基本台帳費委託金は、更正調査事務委託金で1万1,400円。4節統計調査費委託金253万7,370円あります。

2目衛生費委託金4万5,530円は、1節の保健衛生費委託金が、公害防止事務委託金外2件で2万6,400円。2節清掃費委託金は、建設リサイクル法事務取扱委託金1万9,130円。

3目の農林水産業費委託金159万166円は、1節農業費委託金が家畜伝染病予防事務委託金、監督等補助委託金など8件で151万4,566円で、このうち18万4,160円は、繰越明許費の道営事業に係ります監督等補助委託金であります。2節林業費委託金は、有害鳥獣等捕獲許可事務委託金7万5,600円。

4目商工費委託金は、商工会法関係許可事務等の委託金で1万7,475円あります。

次のページをお開きください。5目土木費委託金は、陸別川樋管管理委託金2件で9

8万8,271円であります。

続きまして、15款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入4,278万3,481円であります。1節土地建物貸付収入3,147万7,681円は、普通財産の土地建物の貸付収入で、産業振興住宅ルナコート、貸付住宅、教職員住宅、移住産業研修センターなどの貸付収入が主な内容であります。2節通信設備貸付収入1,130万5,800円は、光ファイバー網の貸付収入。

2目利子及び配当金279万6,320円は、各種基金利子が153万7,095円、優先出資株式配当金などが125万9,225円であります。

2項財産売払収入1目不動産売払収入は、1節土地売払収入が町有地の売払い4件8筆で188万5,974円。2節建物売払収入は、科目存置。

2目物品売払収入428万5,100円は、1節生産物売払収入が素材売払い300万円。2節不用物品売払収入は、公用車両の更新に伴います旧車両4台分の売払い代金128万5,100円。

3目の出資金精算等収入は、株式会社陸別町振興公社の解散に伴います1,098万7,200円の収入であります。

次のページをお開きください。

16款1項寄附金1目一般寄附金は、科目存置。

2目指定寄附金1,168万3,850円は、指定寄附分が13件、556万円、ふるさと納税分が414件、612万3,850円であります。1節総務費寄附金は、ふるさと整備資金、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金、町有林整備資金、合わせまして935万7,850円。2節教育費寄附金は、教育振興資金、教育センター管理運営資金、スポーツ振興資金、合わせまして74万4,000円。3節民生費寄附金は、地域福祉金で98万6,000円。4節農林水産業費寄附金は、いきいき産業支援資金で59万6,000円の寄附となっております。

次に、17款繰入金1項基金繰入金であります。1目財政調整基金繰入金は2億円を基金から取崩して、財源不足分に充当しております。

2目減債基金繰入金も同じく2億円を基金から取崩して、町債の償還に充当しております。

3目ふるさと整備基金繰入金は1,020万円。

4目いきいき産業支援基金繰入金は1億1,230万円。

次のページに移りまして、5目ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金は1,200万円。

6目町有林整備基金繰入金は2,040万円。

7目地域福祉基金繰入金は3,430万円。

8目公共施設等維持管理基金繰入金は4,940万円。

9目学校給食センター管理運営基金繰入金は2,400万円。

10目スポーツ振興基金繰入金は5万7,225円。

11目森林環境譲与税基金繰入金は1,690万円であります。

基金繰入金の総額は6億7,955万7,225円となりまして、それぞれの該当する事業に基金を取崩して充当しております。

18款1項1目繰越金は、前年度繰越金5,795万1,405円で、令和元年度の歳入歳出差引額から基金に繰入れました6,000万円を除いた額と符合をしております。

次のページをお開きください。

19款諸収入1項延滞金加算金及び過料、1目延滞金24万7,312円は、町税延滞金43件分で、町民税19件、17万6,112円、固定資産税14件、5万5,800円、軽自動車税10件、1万5,400円であります。

2目加算金は、科目存置。

2項1目町預金利子は8,112円。

3項貸付金元利収入1目家畜導入貸付金収入5,417万8,000円は、約定償還分が牛217頭、3,369万5,000円、繰上償還分が牛54頭、2,048万3,000円あります。

議案説明書、資料ナンバー27に、優良家畜導入支援事業の資料をつけておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2目貸付金元利収入1億2,841円は、信用保証協会の貸付金1億円のほか、勤労者融資制度貸付金利子などあります。

3目奨学資金貸付金収入153万2,500円は、高校生3人、大学生等7人、うち2人からの償還金であります。

次に、4款雑入ですが、次のページをお開きください。1目滞納処分費は、科目存置。

2目弁償金3万7,520円は、複写機使用と電動機付自動車等標識再交付の弁償金。

次に、3目雑入5,720万7,484円あります。1節介護予防支援報酬56万7,720円は、介護予防サービス計画作成に係る報酬で132件分。2節居宅介護支援報酬624万3,660円は、居宅介護サービス計画作成に係る報酬で475件分。3節高齢者福祉施設負担金388万5,500円は、福寿荘の入居者の食事代等の実費負担金。

4節学校給食費等1,172万9,967円は、小学校・中学校・保育所職員等の負担金。5節電話使用料1万6,692円は、役場庁舎、福祉館など各施設に係る電話の使用料。6節電気等使用料12万8,593円は、コテージ村などの電気等使用料であります。7節雑入3,463万5,352円につきましては、金額の大きなものでは北海道横断自動車道建設や道営事業の道路整備等に係る支障物件、これは鹿柵などになりますが、その移転補償費。それから、宝くじ交付金、介護給付費負担金の精算に伴う返還金、移住産業研修センター賄い負担金、健康診査の個人負担金などが含まれております。

4目過年度収入1,093万2,880円は、国・道負担金、または補助金等の令和元年度事業の精算に伴う追加交付分であります。1節林業費補助金過年度収入は、森林環境保全環境事業補助金で299万2,000円。2節保健衛生費負担金は、養育医療負担金で45万435円。3節子どものための教育・保育給付費負担金が88万9,381円。4節障害者福祉費等負担金は、身体障害者更生医療給付費還付金で660万1,064円であります。

続きまして、20款町債で、次のページにお移りください。

20款1項町債は、全体で9億2,774万4,000円であります。内訳は、公共事業等債で1億30万円、一般単独債の緊急自然災害防止対策事業分で4,850万円、緊急防災減災対策債で3,830万円、過疎債が6億6,340万円、学校教育施設等整備事業債が800万円、臨時財政対策債6,610万6,000円、減収補填債313万8,000円となっております。

1目総務債9,170万円は、防災行政無線整備事業外2事業、この中には過疎地域自立促進特別対策事業6,110万円が含まれております。

議案説明書、資料ナンバー9に、この事業の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2目衛生債3,090万円は、1節清掃債が2,010万円で、塵芥収集車両購入事業外1事業。2節水道債が1,080万円で、小利別地区専用水道整備事業。

3目農林水産業債5億2,220万円は、1節農業債が4億9,360万円で、第2上陸別地区畑地帯総合整備事業外5事業。2節林業債が2,860万円で、林道東トマム高台線改良事業外6事業。

4目土木債1億3,830万円は、1節道路橋りょう債が1億2,050万円で、町道トマム川沿線道路整備事業外19事業。2節住宅建設債が1,780万円で、新町集会所の建設事業。

5目消防債3,720万円は、消防自動車購入事業外2事業。

6目教育債3,820万円は、1節教育総務債が2,490万円で、教員住宅の建設事業。2節学校教育施設整備債が1,330万円で、スクールバス購入事業外2事業であります。4節臨時財政対策債は6,610万6,000円。

次のページに移りまして、8目の減収補填債は313万8,000円の借入れとなっております。

なお、議案説明書、資料ナンバー8に、年度別の起債残高等推移の一覧がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次に、21款1項1目法人事業税交付金であります。令和2年度からの新設科目で、道が徴収した法人事業税の一部を市町村に配分するという制度で、165万8,000円であります。

歳入の合計であります。当初予算額49億9,723万8,000円、補正予算額9

億 8,273万3,000円、繰越明許費 3億4,923万1,000円で、予算現額は63億2,920万2,000円、調定額 59億9,255万9,589円に対しまして収入済額が59億8,955万8,770円、不納欠損額が7万5,063円、収入未済額が292万5,756円で、一般会計の歳入の決算を終えております。

○議長（本田 学君） 11時10分まで暫時休憩します。

休憩 午前10時58分

再開 午前11時08分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、歳出から説明を再開したいと思います。

43ページをお開きください。

1款1項1目議会費は、4,969万1,179円であります。議会費につきましては、議会の運営活動費、議員の報酬、事務局職員の人件費が主な内容となっております。

次に、2款総務費1項総務管理費1目一般管理費2億458万4,813円ありますが、この科目では職員研修や電算システム更新事業、電算システムに係る北海道自治体情報システム協議会への負担金などのほかに、町長、副町長の特別職、それから総務課、出納課などの職員人件費、職員福利厚生費、役場庁舎用の消耗品ですとか、備品購入費などが経費となっております。

次のページをお開きください。46ページのほうを御覧いただきたいと思いますが、この科目の不用額につきましては、3節職員手当等が時間外勤務手当で118万1,301円、退職手当組合費が340万8,296円。9節旅費は、特別旅費で85万3,120円、普通旅費で51万3,260円、これらが主な内容となっております。

続きまして、2目文書広報費3,436万3,991円は、町広報誌の発行やホームページ管理事業、庁用の郵便料などの経費、防災行政無線愛の鐘の機器更新工事などとなっております。

なお、防災行政無線機器更新工事は、令和2年度が最終年でありまして、屋外子局3か所の更新工事で終了となっております。

次のページをお開きください。

3目財政管理費63万1,840円は予算書の印刷。

4目会計管理費335万3,411円は、決算書の印刷と金融機関に対する口座振替、窓口収納、発出事務手数料などであります。

5目財産管理費6億1,392万2,694円は、庁舎、タウンホール、福祉館、公用車の維持管理、地籍図の修正、基金積立金などのほかに歯科診療所の暖房、給湯設備の改修、公用車の購入、公有財産システム導入、各種役場庁舎の改修工事など、左側に掲載の主要事業の経費となっております。

48ページを御覧ください。この科目の不用額につきましては、1節報酬が車両管理専門員分で36万9,972円。10節需用費は、庁舎用の電気料等の光熱水費で39万5,399円。11節役務費は、公用車の車検等手数料21万7,990円。12節委託料は、北電柱、NTT柱建て替えに伴う光ケーブルの取付け代業務、129万1,704円が主な内容となっております。

次のページ、お開きください。50ページのほうの24節積立金4億9,260万8,095円に関しましては、議案説明書、資料ナンバー7に、基金別増減の状況の表がありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

なお、この基金は、家庭の貯金に当たるものでありますが、一般会計の基金の現在高48億6,459万157円を、今年の3月31日現在の人口2,291人で割りますと、町民1人当たり212万3,348円となりまして、前年度より1万5,272円少なくなっております。

6目町有林野管理費4,375万7,349円は、議案説明書、資料ナンバー17に、町有林管理事業収支一覧表があります。また、令和2年度は町有管理用の車両の購入のほか、主要事業の欄にも詳しく掲載をしておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

なお、町有林拡大事業につきましては、38万2,121平米を187万2,302円で購入をしております。平成25年度から令和2年度末までに取得しました面積の合計は、212万7,140.17平米となっております。

次に、7目企画費7,367万6,839円であります。次のページ、お開きください。7目の企画費は、掲載の主要事業が主な内容となっております。ふるさと納税促進事業は313万3,435円の支出に対し、414件、612万3,850円の納税があり、差引き299万415円がプラスとなっております。

地域交通利用促進事業のうち、路線バス利用促進の助成事業の利用延べ人数は1,396人、高校生の通学に係る通学定期差額補助事業は、足寄高校8名、本別高校2名、北見方面が7名の合わせて17名への補助となっております。

地方創生推進交付金事業につきましては、議案説明書、資料ナンバー18に、地方創生交付金事業実績資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

新農林業人材発掘プログラム事業、サマーインi nりくべつ開催事業は、新型コロナウイルス対策により中止をしております。

なお、この目には、民間活用住宅建設事業2,520万円が、令和3年度への繰越事業として計上されております。

52ページを御覧ください。この科目の不用額になりますが、18節負担金補助及び交付金でまちづくり補助金92万円、地域公共交通推進会議交付金96万5,866円、移住・定住促進住宅建設等補助事業50万453円が主な内容であります。

8目公平委員会費は、執行がございません。

9目交通安全対策費は111万1,211円で、例年同様の執行であります。

次に、10目諸費327万8,585円であります。

次のページをお開きください。この科目は、自治会活動等の促進交付金は、町功労者表彰などに係る経費で、例年同様の執行であります。

11目交流センター管理費3,814万4,337円は、ふるさと交流センター管理のほか屋外の温度計更新、駐輪場の擁壁、駐車場の補修に係る経費であります。令和2年度の利用者は3,559人で、前年度より748人の減となっております。

議案説明書、資料ナンバー19の1と2に、ふるさと交流センターの管理経費内訳と、オーロラハウスの利用状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

12目銀河の森管理費は、天文台、コテージ村・銀河の森専用水道の管理経費であります。決算額8,235万8,801円の内訳は、職員人件費1,741万8,238円、天文台関係で3,974万5,337円、コテージ村関係で2,085万3,752円、銀河の森の管理費の関係で255万7,500円、銀河の森の専用水道の関係で178万3,974円となっております。

令和2年度の天文台の入館者数ですが、4,797人で、前年度よりも2,610人の減、コテージ村の利用棟数は637棟で、前年度より231棟の減となっております。この科目の不用額ですが、54ページの3節職員手当等で時間外手当34万4,946円、次のページの56ページを御覧ください。12節委託料は、専用水道の管路等修繕で54万9,200円。17節備品購入費は、天文台の管理用備品で55万8,227円が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー20に銀河の森天文台実績表、資料ナンバー21にコテージ村の利用実績がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

13目地域活性化推進費1,958万6,803円は、地域活性化推進事業やミネラルウォーター開発事業、地域おこし協力隊に係る経費であります。令和2年度は在庫があったために、ミネラルウォーターは製造しておりません。不用額は、地域おこし協力隊に係る経費分が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー22に、陸別チャレンプロジェクト事業資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

次のページを御覧ください。

14目企業誘致対策費は、執行がございません。

15目特別定額給付金事業費は、新型コロナウイルス関係の支援事業費で、2億3,728万1,389円。左側主要事業にあります特別定額給付金は国の実施制度で、新生児の給付金につきましては、町独自の制度であります。

続きまして、2項徴税费1目税務総務費2,426万2,779円でありますが、この科目は税の還付加算金のほか職員の人件費などで、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。60ページのほうを御覧いただきたいと思いますが、22節償還金利子及び割引料は124万2,700円。徴税などの還付金で個人町民税6件18万8,600円、法人町民税7件100万300円、固定資産税7件2万1,400円、軽自動車税が3件2万4,000円、還付加算金が法人町民税3件、8,400円となっております。

2目賦課徴収費425万3,137円は、例年同様の執行のほか、法改正によります固定資産税システム更改の負担金719万2,000円が加わっております。

なお、十勝市町村税滞納整理機構への負担金は44万4,000円で、道民税も含めた引継額は46件82万3,689円、収納額は73件52万8,981円となっております。

議案説明書、資料ナンバー15に、十勝市町村税滞納整理機構引継収納状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思います。

3項1目戸籍住民基本台帳費2,535万8,922円は、職員の人件費など例年同様の執行のほか、戸籍附票等のシステム改修や、番号制度関連機器設置に係る業務委託を執行しております。

次のページをお開きください。4項選挙費1目選挙管理委員会費622万8,815円は、選挙管理委員会委員の報酬や職員の人件費など例年同様の執行。2目選挙啓発費は、執行がございません。

次のページをお開きください。5項統計調査費1目指定統計調査費253万8,524円は、国勢調査ほか各種統計調査費に係る指導員及び調査員の報酬や消耗品などの事務費。

6項1目監査委員会費182万9,157円は、例年同様の執行であります。

続きまして、3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費3億9,469万9,380円であります。

次のページをお開きください。障害福祉計画等の策定など掲載の主要事業のほか、職員人件費、福祉住宅（からまつハウス）の管理経費、国民健康保険事業勘定特別会計、介護保険事業勘定特別会計への繰出金などが含まれております。この科目の不用額になりますが、66ページのほうを御覧ください。14節工事請負費が、防犯灯の新設・撤去工事で58万8,800円。18節負担金補助及び交付金が民生委員協議会25万8,984円、社会福祉協議会41万2,571円。19節扶助費は、重度心身障害者等医療費助成で234万3,918円、障害者介護給付費等の支援費で164万6,851円が主な内容であります。27節繰出金は、国民健康保険事業勘定特別会計への繰出金が2,314万1,073円、介護保険事業勘定特別会計への繰出金が5,254万5,020円で、不用額が485万907円は、国保会計への繰出金484万9,927円が不用額の主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー23の1に、社会福祉費総務費分の民生費事業実施状況の

資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思います。

次に、2目老人福祉費は6,866万2,983円であります。

次のページをお開きください。この科目は、掲載の主要事業のほか、老人健康増進センター、ふれあいの里、高齢者交流センターなどの管理運営費、居宅介護支援事業所設置事業費など例年同様の執行であります。敬老会は中止となっております。

なお、デイサービスセンターの延べ利用者数ですが、2,356人で、前年度より371人の減、介護予防日常生活支援総合事業の延べ利用者数は172人で、前年度より19人の増となっております。

この科目の不用額は、10節需用費が福寿荘の食料費、光熱水費で36万5,870円。12節委託料は、成年後見支援事業で33万1,890円。18節負担金補助及び交付金が、デイサービス運営事業21万2,846円、介護予防日常生活支援総合事業42万2,687円、介護職員資格取得助成事業30万円が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー23の2に、老人福祉費分の民生費事業実施状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思います。

3目後期高齢者医療費は4,481万867円。18節負担金補助及び交付金は、北海道後期高齢者医療広域連合への負担金。27節繰出金は、後期高齢者医療特別会計への繰出金であります。

次に、2項児童福祉費1目児童福祉総務費638万930円ですが、この科目につきましては、掲載の主要事業のほか児童福祉施設への通所に係ります交通費助成ですとか、障害児自立支援給付費などの経費が含まれております。次のページの70ページを御覧ください。19節扶助費の不用額37万1,460円のうち27万8,000円は、身体障害児補装具交付事業分であります。

2目児童福祉施設費9,562万1,918円は、保育所に従事する職員の人件費、会計年度任用職員の報酬や陸別保育所の管理運営経費など例年同様のほかに、エアコン設置、それから空調用の電気設備工事などを行っております。

議案説明書、資料ナンバー24に、児童福祉関係の実施状況がつけてありますので、こちらには保育所の登録児童数も参考として掲載をしております。後ほど御覧をいただきたいと思います。

次に、3目児童福祉費2,621万5,115円あります。次のページを御覧ください。この科目は児童手当の支給でありまして、主要事業に記載のとおりであります。

なお、新型コロナウイルス関連の国の制度であります、子育て世帯への臨時特別給付金230件、230万円も給付を実施しております。

3項国民年金費1目国民年金事務取扱費995万3,001円は、例年同様の執行であります。

続きまして、4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費5,458万1,871円あります。次のページを御覧ください。この科目では、職員の人件費、保健事業に係

る事務経費など例年同様の執行のほか、令和2年度から医療介護技術職員の養成修学資金1名の貸付けが始まっております。

なお、3節職員手当等の不用額につきましては、時間外手当で50万7,408円。4節共済費の不用額は、産休職員分の積算誤り等が主な内容であります。

2目保健衛生施設費3,962万6,738円は、保健センター公衆浴場の管理運営関係で、保健センター分が3,374万9,386円、公衆浴場分が587万7,352円の執行となっております。公衆浴場、公浴施設の利用者数は合計で8,648人で、前年度より487名の増となっております。

なお、保健センター診療所の改修事業は、排煙窓等の改修と、4年計画の最終年となります計装機器の更新工事を行っております。この科目の不用額につきましては、10節需用費のうち保健センター公衆浴場の燃料代が276万6,910円、光熱水費で52万3,128円が主な内容であります。

次のページをお開きください。

3目予防費2,139万4,381円は、各種検診、予防接種など、掲載の主要事業が主な内容であります。なお、新型コロナウイルスワクチン接種事業につきましては、ワクチン接種の事前準備の経費となっております。受診等の実績は、各種検診の延べ人数が1,086人で、前年度より124人の減。健康診査の延べ人数は248人で、前年度より44人の増。予防接種の延べ人数が904人で、前年度より1人の増となっております。19節扶助費の不用額につきましては、各種助成事業の積み上げとなっております。

議案説明書、資料ナンバー25に、各種検診、健康診査、予防接種、療育指導などの衛生費事業実施状況の一覧がつけてありますので、後ほど御覧ください。

4目環境衛生費543万5,703円は、例年同様の執行に加えまして、陸別墓地擁壁補修に係る墓石の移石等に係る補償費の執行であります。

次のページ、お開きください。

5目診療所費1億5,182万4,000円は、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計への繰出金であります。このうち7,429万円が、普通地方交付税と特別地方交付税により財源措置をされております。

2項清掃費1目清掃総務費499万3,521円は、主要事業に掲載のとおりの内容であります。なお、この目には、水道建設負担金事業4,000円が、令和3年度への繰越事業として計上されております。

2目塵芥処理費9,964万966円も、掲載の主要事業が主な内容ですが、令和2年度ではショベルローダー1台、塵界収集車1台を購入しております。ごみ等の収集量は、合計で510.6トンで、前年度より47.3トン、少なくなっております。不用額につきましては、10節需用費のうち指定ごみ袋購入等で12万4,948円。11節役務費は、ごみ処理手数料で24万5,107円が主な内容であります。

3 項水道費 1 目専用水道費 2,972 万 7,655 円は、小利別から下敷別までの専用水道に係る経費で、給水戸数は 19 戸で、前年度より 1 戸減となっております。次のページをお開きください。令和 2 年度から新たに長寿命化のため、電気機械設備更新の実施設計及び水質計器の取替えなど、電気設備更新工事を行っております。12 節委託料の不用額は、管路等の修繕で 39 万 7,800 円が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー 26 に、4 款衛生費、6 款農林水産業費、8 款土木費におけます補助、交付金、起債を対象事業とする建設工事の一覧をつけておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

2 目水道費 1 億 1,084 万円は、簡易水道事業特別会計への繰出金であります。

続きまして、5 款労働費 1 項労働諸費であります。1 目労働諸費 98 万 9,119 円は、例年同様の執行。

2 目緊急雇用対策費 1,643 万 9,458 円は、緊急雇用対策事業であります。林業が 3 社、建設業 2 社、建築業が 1 社、合計 6 社、延べ 47 名の雇用となっております。次のページ、お開きください。この科目の不用額であります。いずれも作業実績に伴うものでありまして、12 節委託料 105 万 4,759 円が主な内容であります。

3 目雇用再生対策費 740 万円は、地元雇用促進事業で、新規雇用が 16 名、継続雇用が 4 名の計 20 名。分野別では、農業が 7 名、林業が 2 名、商業は 4 名、建設業が 1 名、福祉関係が 6 名となっております。不用額につきましては、全て本事業の補助金で、実績に基づくものであります。

続きまして、6 款農林水産業費 1 項農業費 1 目農業委員会費 1,610 万 3,236 円はありますが、職員の人件費のほか、例年同様の執行状況であります。

次のページをお開きください。2 目農業総務費 6,320 万 3,203 円は、職員の人件費で、3 節職員手当等の不用額につきましては、時間外勤務手当 38 万 2,661 円が主な内容であります。

3 目農業振興費 9,738 万 9,420 円は、掲載の主要事業が主な内容であります。令和 2 年度は営農実習受入れ関係の補助金・交付金、農業振興地域整備策定業務、新型コロナウイルス対策支援事業補助金に加わっております。17 節負担金補助及び交付金の不用額は、農林推進協議会運営事業補助金 58 万 552 円、農業近代化資金の利子補給事業補助金 89 万 3,527 円が主な内容であります。

4 目畜産業費 5 億 7,174 万 3,690 円は、バイオガスプラント建設に係る補助金・負担金による大幅な増額で、掲載の主要事業が主な内容であります。

なお、この目では、令和元年度からの繰越明許、畜産酪農収益力強化整備事業で 2 億 1,749 万 9,000 円の執行と、同事業の令和 3 年度への繰越明許費 2 億 5,410 万 1,000 円の予算が計上されております。次のページ、お開きください。18 節負担金補助及び交付金の不用額につきましては、バイオガスプラント建設に係る北電への電力系統連携工事負担金の令和 2 年度負担分の確定に基づきます 805 万 4,159 円の主な

内容であります。

なお、議案説明書、資料ナンバー 27 に、優良家畜導入支援事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

次に、5目農地費1億5,378万7,626円も、掲載の主要事業が主な内容であります。この目では、令和元年度からの繰越明許、トマム地区道営農業農村整備事業で6,268万9,275円の執行と、令和3年度への同事業の繰越明許費180万6,000円の予算が計上されております。

6目営農用水管理費1億895万5,304円であります。次のページ、御覧ください。この目での執行は、上陸別地区、トラリ地区の営農用水の管理費のほか、掲載の主要事業が主な内容であります。上陸別地区は1億407万2,097円、トラリ地区は488万3,207円の内訳となっております。この目では、令和元年度からの繰越明許、第2上陸別地区の道営担い手畑地帯総合整備事業で3,885万5,277円、令和3年度への同事業の繰越明許費5,562万3,300円の予算が計上されております。12節委託料の不用額につきましては、通常管理運営費に係る管路等修繕が83万8,800円、施設修繕作業42万3,500円などが主な内容であります。給水戸数につきましては、上陸別地区が32戸、トラリ地区が18戸で、前年と変わっておりません。

7目公共草地管理費987万6,166円は、主要事業に掲載しております登良利地区公共草地配電線路災害復旧工事及びポンプ設備の更新工事の執行のほか、例年同様の執行状況であります。

8目農畜産物加工研修センター管理費1,585万7,437円は、職員の人件費ほか、例年同様の執行であります。なお、年間の施設の利用回数は203回で、前年より51回の減となっております。

議案説明書、資料ナンバー28に、加工センターの月別利用実績がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

次のページを御覧ください。

2項林業費1目林業振興費8,783万6,305円は、掲載の主要事業が主な内容で、令和2年度から森林環境譲与税関係の各種事業、陸別地区小規模治山事業が加わっております。18節負担金補助及び交付金の不用額は、補助金の民有林造林促進事業29万6,144円、退職金共済制度加入促進事業47万4,707円が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー29に、未来につなぐ森づくり推進事業、民有林造林促進事業、資料ナンバー32、森林作業員就業条件整備事業、林業長期就労促進担い手対策事業、退職金共済制度加入促進事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

また、資料ナンバー26には、2項林業費の建設工事に係る資料がつけてありますので、こちらも後ほど御覧ください。

次に、2目狩猟費463万6,189円であります。次のページ、御覧ください。こちらの主要事業に掲載のとおり、有害鳥獣の駆除等に係る経費でありまして、例年同様の執行であります。

3目林道新設改良費3,270万2,558円は、林道の改良工事、あるいは維持管理に係る工事等で、こちらも掲載の主要事業が主な内容であります。

7款1項商工費1目商工総務費2,030万7,066円は、人件費の計上でありませ

す。
次のページ、御覧ください。

2目商工振興費1億7,224万4,743円は、主要事業に掲載された内容のとおりであります。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策によりまして、中小企業融資制度の預託金の増。経営安定資金の一部利子補給の額及び期間の拡大、プレミアム商品券のプレミアム率等の拡充、小規模企業等振興事業補助金等の創設などによりまして、例年より増額となっております。

なお、プレミアム商品券は、換金実績額で7,825万3,500円、日産自動車購入費助成は5台分となっております。18節負担金補助及び交付金の不用額は、商工振興事業102万5,350円、日産自動車購入助成で219万3,480円、事業継続臨時支援金612万1,422円が主な内容であります。

94ページの18節負担金補助及び交付金の上段は、この科目の左側の主要事業掲載枠を確保するために、斜線で空欄としておりますので、御了承いただきたいと思います。

3目観光費940万1,663円も、掲載しております主要事業のとおりであります。しばれフェスティバルをはじめとする各種イベントの中止に伴いまして、例年より減額となっております。94ページのほうになりますが、18節負担金補助及び交付金の不用額につきましては、観光協会の補助金で254万5,000円が主な内容となっております。

4目公園費611万7,837円は、公園等の管理に係る経費などで、例年同様の執行であります。

次のページをお開きください。

5目消費者対策費101万7,354円は、消費生活相談窓口開設が月2回、消費生活支援事業が月1回の開設で、例年同様の執行であります。

続きまして、8款土木費1項土木管理費であります。1目土木総務費4,611万2,694円は、職員人件費、旅費、樋門・樋管管理などに係る経費で、例年同様の執行であります。3節職員手当等の不用額は、時間外勤務手当52万5,868円が主な内容であります。

次のページ、お開きください。

2項道路橋りょう費1目道路橋りょう総務費1,940万9,141円あります。内

容は、ダンプやグレーダーなどの公有車両の管理経費など例年同様の執行のほかに、町道の用地確定測量委託業務が含まれております。この項目の不用額につきましては、10節需用費では、車両用の消耗品等で307万1,770円、燃料代52万8,463円、修繕料で79万7,072円。11節の役務費で、車検費用34万2,014円が主な内容であります。

2目道路維持費1億4,126万869円は、町道の道路維持に係る経費で、掲載の事業が主な内容となっております。この科目の不用額は、12節委託料が除排雪業務で1,041万2,491円。15節は、道路維持にかかり必要な原材料費で59万7,634円が主な内容であります。

議案説明書、資料ナンバー26に、8款土木費の2項道路橋りょう費と4項住宅費の建設工事に係る資料がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

3目橋りょう維持費9,608万3,137円は、町道の橋の維持に係る経費で、橋りょうの長寿命化に係る主要事業のとおりの内容となっております。

次のページ、お開きください。

4目道路新設改良費9,882万3,167円は、町道の道路整備や舗装工事などに係る経費であります。前年度の1路線に対しまして、令和2年度は4路線を整備しております。5目街路灯費918万6,909円は、街路灯の維持管理に係る経費と、LED化工事が主な内容であります。令和2年度の街路灯LED化工事では、11基を実施しまして、これによりまして街路灯182基のうち、132基がLEDに変わっております。10節需用費の不用額は、電気料42万8,091円であります。

3項河川費1目河川総務費511万3,170円は、普通河川の護岸補修等が主な内容。

次に、4項住宅費であります。次のページをお開きください。1目住宅管理費2,132万3,578円は、町営住宅247戸に係る維持管理、改修などに係る経費であります。年度末の空き家は59戸で、このうち37戸は政策的に空き家としております。

2目住宅建設費6,322万4,880円は、社会資本整備総合交付金事業として、公営住宅及び旧新町交流館の解体と新しい新町交流館の造成工事、新町団地、共栄団地の屋根塗装、外壁塗装工事などが主な内容となっております。

5項1目下水道費8,679万8,000円は、公共下水道事業特別会計への繰出金であります。

続きまして、9款1項消防費であります。次のページを御覧ください。1目消防費2億337万2,424円は、十勝広域消防事務組合への負担金が1億6,034万3,000円、陸別消防団に係る費用が4,302万9,420円の内訳となっております。陸別消防団では、令和2年度に消防ポンプ自動車1台を更新しております。この目では、消防署の感染拡大防止、換気整備事業の令和3年度への繰越明許費486万2,000円の予算が計上されております。

なお、3月31日現在におけます陸別消防団の団員数は、定員56名に対しまして47名で、年度中新加入が1名、退団が2名となっております。

18節負担金補助及び交付金の不用額は、消火栓年間維持負担金31万9,000円、消防団の運営活動活性化交付金46万7,690円が、主な内容であります。

2目災害対策費3,792万8,636円は、防災行政無線の保守管理などの例年同様の執行のほかに、令和2年度は総合防災訓練としまして、感染症対策を想定しました避難所運営訓練を実施するとともに、ハザードマップを作成しまして、町内全戸に配布をいたしました。

また、北海道総合行政情報ネットワーク機器の更新に係る負担金、新型コロナウイルス感染症を踏まえまして、感染症蔓延時の災害に備えた避難所用品等の整備に係る経費となっております。

なお、議案説明書、資料ナンバー31に、令和2年度に購入しました避難所用災害対策用品一覧と、非常用食料の一覧をつけておりますので、後ほど御覧をください。

それでは、次のページをお開きいただきまして、106ページのほうを御覧ください。不用額です。不用額につきましては、12節委託料が庁舎タウンホールのWi-Fi整備42万4,320円。17節の備品購入費が、避難所用の備品購入で38万8,140円が主な内容であります。

続きまして、10款教育費1項教育総務費であります。1目教育委員会費148万4,290円は、例年同様の執行。

2目事務局費1億2,534万7,944円は、職員の人件費のほか掲載の主要事業などの内容で、教職員住宅の建て替えは2棟2戸を解体しまして1棟2戸を新築。奨学資金の貸付けは、大学等9名、高校4名となっております。3節の職員手当等の不用額につきましては、時間外勤務手当の53万9,976円が主な内容であります。

次のページをお開きください。

3目教育振興費1,222万3,254円は、掲載の主要事業が主な内容で、例年同様の執行です。18節負担金補助及び交付金の不用額は、小中一貫教育推進委員会交付金60万5,949円が主な内容であります。

次のページをお開きください。

4目スクールバス運行管理費4,277万6,770円は、29人乗りのスクールバス1台購入のほかは、例年同様の執行状況であります。スクールバスの利用状況であります。主要事業に掲載のとおりでありまして、前年度より延べで94人増となっております。なお、12節委託料の不用額は、スクールバスの運行管理委託料となっております。

5目教育研究所費30万4,780円は、例年どおりの執行。

2項小学校費1目学校管理費4,282万2,009円は、例年同様の執行に加えまして、新型コロナウイルス感染症対策としまして、空調設備整備等の施設整備を実施する

など、主要事業に掲載のとおりの内容となっております。この目では、新型コロナウイルス感染症対策事業の令和3年度への繰越明許費80万6,000円が予算計上されております。10節需用費の不用額は、小学校の燃料代39万6,258円が主な内容であります。

なお、児童数であります。令和3年3月末日現在で、1年生7名、2年生17名、3年生21名、4年生15名、5年生18名、6年生21名の合計99名となっております。

次のページをお開きください。

2目教育振興費3,873万8,786円は、例年同様の執行に加えまして、児童全員分の情報通信端末の購入、令和元年度に購入した電算機器の償還金など、主要事業に掲載のとおりの内容であります。この目では、令和元年度からの繰越明許、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業1,157万2,000円を執行しておりまして、12節委託料の不用額は、この事業の執行残額290万2,000円が主な内容であります。

なお、就学援助の扶助の準要保護は、前年度より3名の増、特別支援教育は7名で、同数となっております。

3項中学校費1目学校管理費3,805万7,688円は、小学校費と同様に例年同様の執行に加えまして、新型コロナウイルス感染症対策として空調設備整備等の施設整備の実施するなど、主要事業に掲載のとおりの内容となっております。この目では、新型コロナウイルス感染症対策事業の令和3年度への繰越明許費218万円の予算が計上されております。10節需用費の不用額は、中学校の光熱水費43万4,172円が主な内容であります。

生徒数についてであります。令和3年3月末日現在で、1年生が17名、2年生が14名、3年生が13名の計44名であります。

次のページを御覧ください。

2目教育振興費2,664万6,053円は、こちらも小学校費と同様に例年同様の執行に加えまして、生徒全員分の情報通信端末の購入、令和元年度に更新しました電算機器の償還金など、主要事業に掲載のとおりの内容となっております。この目では、令和元年度からの繰越明許で、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業1,075万8,000円を執行しており、12節委託料の不用額につきましては、この事業の執行残額142万7,000円が主な内容であります。

なお、就学援助の扶助の準要保護は、前年度より3名の増、特別支援教育は1名増となっております。

4項社会教育費1目社会教育総務費843万820円は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中学校等海外派遣事業をはじめとする各種事業の中止、縮小などのために前年度より執行額が減少しております。主要事業に記載の内容のとおりとなっております。

ます。

次のページをお開きください。

2目公民館費1,257万4,262円は、例年同様の執行で、内容は主要事業に掲載のとおりであります。公民館、図書室の利用者数につきましては、前年度より759人の減、視聴覚室の利用者数は、前年度より178名の減となっております。11節需用費の不用額は、公民館の燃料代70万4,600円が主な内容であります。

3目文化財保護149万6,530円は、関寛斎の紙芝居を制作したほか例年同様の執行で、内容も主要事業に掲載のとおりであります。関寛斎資料館の入館者数であります。前年度より227名の減となっております。

次のページをお開きください。

5項保健体育費1目保健体育総務費142万351円は、町民スポーツ大会をはじめとします各種スポーツ大会等の中止・縮小などのために、前年より113万956円の減額となっております。主要事業に記載の内容のとおりであります。18節負担金補助及び交付金の不用額は、スポーツ振興基金運用事業の交付金44万2,775円が主な内容であります。

2目体育施設費1,705万8,539円は、例年同様の執行で、内容も主要事業に記載のとおりであります。

3目学校給食費5,267万2,488円も、例年同様の執行でありまして、職員の人件費のほか、給食センターの管理運営費であります。次のページをお開きください。10節の需用費の不用額は賄い材料費21万7,240円が主な内容、令和2年度に提供しました給食の食数であります。前年度より452食の増となっております。

○議長（本田 学君） 昼食のため、午後1時まで暫時休憩します。

休憩 午後 0時00分

再開 午後 1時00分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、119ページをお開きください。

119ページの下段になります。11款災害復旧費1項農林水産業施設災害復旧費1目農業施設災害復旧費1万340円。

2目林業用施設災害復旧費2,475円。

次のページをお開きください。

2項公共土木施設災害復旧費1目道路橋りょう災害復旧費5万350円、これは令和2年度は災害復旧工事がありませんでしたので、事務経費のみの執行となっております。

12款1項公債費1目元金5億4,491万2,270円及び2目利子2,424万6,721円につきましては、議案説明書、資料ナンバー8に、起債残高等推移の資料をつ

けておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思ひます。

なお、一般会計の残高は49億8,103万3,000円で、前年度末より3億8,283万2,000円の増となつており、これを今年3月末の人口で割り返しますと、町民1人当たり217万4,174円となりまして、前年度より20万4,080円の増となつております。

13款予備費につきましては、5件、124万7,138円を充当しております。

歳出の合計であります。当初予算額49億9,723万8,000円、補正予算額9億8,273万3,000円、繰越明許費3億4,923万1,000円で、予算現額は63億2,920万2,000円、支出済額は58億5,054万5,304円、翌年度への繰越明許費3億4,458万2,300円、不用額が1億3,407万4,396円、予算流用につきましては13件、33万220円で、一般会計の歳出の決算を終えております。

続きまして、123ページをお開きください。

123ページは、一般会計の実質収支に関する調書。

単位は千円であります。歳入総額が59億8,955万9,000円、歳出総額が58億5,054万5,000円、歳入歳出差引額が1億3,901万4,000円、繰越明許費繰越額が1,259万9,000円で、実質収支額は1億2,641万5,000円であります。

なお、繰越明許費繰越額1,259万9,000円は、令和3年度への繰越額3億4,458万2,000円から、未収入特定財源3億3,198万3,000円を除いた額となつております。実質収支額の2分の1以上となる7,000万円を財政調整基金に積立てることとしまして、残り5,641万5,000円が翌年度への繰越金となります。

続きまして、124ページを御覧ください。

124ページからは、財産に関する調書であります。

まず、1、公有財産(1)の土地及び建物ア総括で、行政財産と普通財産に区分されておりますが、合計の欄を御覧ください。土地・地積の年度中の増減は44万7,623.58平米の増で、決算年度末現在高は3,281万5,772.86平米であります。建物の木造と非木造延べ面積の年度中の増減は1,120.24平米の減で、決算年度末現在高は6万4,231.05平米であります。この土地・建物の行政財産の内訳は、125ページと134ページ、普通財産の内訳につきましては、126ページと135ページにありますので、後ほど御覧ください。

続きまして、127ページを御覧ください。

127ページは、(2)の山林についてであります。こちらにつきましては後ほど御覧をいただきたいと思ひます。(3)有価証券の令和2年度の増減504万円の減額につきましては、株式会社陸別町振興公社の解散に伴う減額であります。次の(4)無体財産権につきましては、陸別百恋水の商標権のみで、変更はございません。このほか出資に

よる権利は128ページ、物品につきましては129ページから130ページ、備品につきましては131ページから132ページ、債権と3月31日現在の基金につきましては133ページに掲載をしておりますので、後ほど御覧をいただきたいと思ます。

以上で、議案第58号の説明を終わります。次に、議案第59号の説明に移ります。

国保会計になります。議案第59号令和2年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算についての説明をいたします。

決算書の説明資料から説明をいたしますので、168ページをお開きください。

168ページの説明資料につきましては、まず、第1表、国民健康保険事業状況最近年度比較表であります。左の事務職員数から保険税徴収回数までは、前年度と変わっておりません。年間平均世帯数は前年度より13世帯の減、年間平均被保険者数は前年度より21人の減、1世帯当たりの税調定額は前年度より1万6,444円の減、1人当たりの税調定額は前年度より1万357円の減、1人当たりの療養諸費費用額は前年度より5万4,780円の増、1人当たりの一月当たりの受診医療機関数は1.39か所で、前年度より0.11減少しております。

次に、第2表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額4億6,648万7,000円、歳入決算額4億5,742万4,614円、歳出の決算額4億5,557万6,774円、差引残額184万7,840円でありまして、これは令和3年度への繰越金となります。

次のページを御覧ください。

第3表の歳入実績最近年度比較表であります。

1款国民健康保険税から合計までの科目ごとの令和元年度と令和2年度の金額及び比率などにつきましては、表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計につきましては、調定額4億5,780万9,955円、収入済額4億5,742万4,614円で、収入済額を前年度と比較しますと、2,987万8,910円の増となっております。このうち、1款国民健康保険税につきましては、収入済額は7,198万1,956円、歳入に占める割合は15.7%で、前年度比3.4ポイントの減。不納欠損額はなく、収入未済額が38万5,341円で、収納率は99.5%、前年度比0.7ポイントの増となっております。

次のページをお開きください。

第4表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの科目ごとの金額、比率等、表のとおりであります。令和2年度の歳出の合計は、支出済額4億5,557万6,774円で、前年度比較しますと3,819万3,262円の増。不用額1,091万226円は、前年度と比較しますと1,818万4,262円の減、執行率は97.7%、前年度比3.8ポイントの増となっております。

次に、第5表、国民健康保険税収納額最近年度比較表であります。

左側が現年課税分、右側が滞納繰越分でありまして、前年課税分は調定額7,136万4,800円、収入済額は7,115万8,300円で、前年度と比較しますと912万3,265円の減。収入未済額は20万6,500円で、前年度と比較しますと5万5,765円の増、収納率は99.7%であります。滞納繰越分は、調定額100万2,497円、収入済額は82万3,656円で、前年度と比較しますと62万7,004円の減。収入未済額は17万8,841円で、前年度と比較しますと67万1,921円の減、収納率は82.2%であります。

なお、収入済額の中には、十勝市町村税滞納整理機構より49万1,035円が入金されております。

次の第6表、最近5か年間の決算額調べは、ここに記載のとおりでありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

以上で、説明資料の説明を終わります。次に、事項別明細書の説明を行います。148ページをお開きください。

それでは148ページ、歳入から説明をいたします。

1款1項1目国民健康保険税は、7,198万1,956円の収入であります。令和2年度の年間平均世帯数は396世帯、年間平均被保険者数は622人で、前年度より13世帯、21人の減となっております。1節現年課税分の収入済額は7,115万8,300円、収入未済額は6件で、20万6,500円、前年度より1件の減であります。2節滞納繰越分の収入済額は82万3,656円、収入未済額は9件、17万8,841円で、前年度より3件の減であります。

2款国庫支出金1項国庫補助金1目災害臨時特例補助金は54万4,000円で、新型コロナウイルス感染症対応分に係る補助であります。

3款道支出金1項道負担金1目保険給付費等負担金3億3,138万7,307円あります。1節保険給付費等交付金、普通交付金2億5,783万307円は、歳出の2款保険給付費に対応する金額となっております。差額139万1,440円は、令和3年度に精算交付されます。2節の特別交付金7,355万7,000円は、保険者努力支援分526万9,000円、特別調整交付金5,606万円、道繰入金1,119万2,000円、特定健診負担金103万6,000円の内訳であります。

4款財産収入1項財産運用収入1目利子及び配当金は、基金の利息2,178円あります。

次のページをお開きください。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金2,314万1,073円は、1節保険基盤安定繰入金1,696万3,073円が低所得者の保険料軽減分と、保険者支援分であります。これにつきましては、一般会計の歳入におきまして、国と道から合わせて4分の3の1,272万2,303円が入ってきております。2節事務費繰入金は240

万円、3節出産育児一時金等繰入金は28万円の2件分、56万円。4節財政安定化支援事業繰入金は、普通地方交付税の歳入額321万8,000円であります。

2項基金繰入金1目国民健康保険基金繰入金は1,988万2,908円。

6款1項1目繰越金は、前年度繰越金で1,016万2,192円。

7款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金25万9,000円は、33件分であります。

次のページをお開きください。

2目加算金、2項雑入の1目第三者納付金から4目療養給付費交付金までは、科目存置であります。5目特定健康診査等負担金4万円は、令和元年度分の道負担金の精算による返還金。6目雑入2万4,000円は、健康診査の個人負担12名分であります。

歳入の合計であります。当初予算額4億930万8,000円、補正予算額5,717万9,000円で、予算現額は4億6,648万7,000円、調定額4億5,780万9,955円に対し、収入済額が4億5,742万4,614円、収入未済額が38万5,341円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。154ページをお開きください。

154ページは、歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費1,945万7,840円は、国保会計の事務経費や国保連合会への負担金など、8節旅費から24節積立金まで例年同様の執行となっております。なお、24節積立金は、前期高齢者納付金等の精算などに伴いまして、前年度より551万8,746円少ない額の基金への積立てとなっております。2目連合会負担金は、18節負担金補助及び交付金45万7,969円で、例年同様の執行。

2項徴税费1目賦課徴収費51万9,460円は、例年同様の執行であります。

なお、18節負担金補助及び交付金は、十勝市町村税滞納整理機構への負担金で、30万3,000円。15件、50万1,876円を引き継ぎまして、14件、49万1,035円が収納されております。

続きまして、3項1目運営協議会費2万5,790円です。次のページをお開きください。1節報酬と4節共済費は、例年同様の執行であります。

続きまして、2款保険給付費であります。項目ごとに前年度と比較しますと、1項療養諸費1目療養給付費2億1,979万4,089円は、2,035万9,958円の増。2目療養費248万296円は、111万1,597円の減。3目審査支払手数料52万449円は、5万9,505円の減。

2項1目高額療養費3,273万5,746円は、656万477円の増。2目高額介護合算療養費8,287円は皆増となっております。

3項1目移送費は、科目存置。

次のページを御覧ください。

4項出産育児諸費1目出産育児一時金は2件分84万円で、42万円の減。5項葬祭

諸費 1 目葬祭給付費は、科目存置。2 目葬祭費は 2 件分 6 万円で、3 万円の減。

6 項育児諸費は、1 目育児給付費、2 目児童手当金ともに、科目存置であります。

なお、2 款保険給付費の総額 2 億 5,643 万 8,867 円に対しまして、歳入で道支出金の保険給付費等交付金が交付をされております。

3 款国民健康保険事業費納付金は、平成 30 年度から北海道が財政運営の責任主体となり、全道の市町村の標準化に向けて陸別町の負担分を精算の上、求められた納付額であります。1 項 1 目医療給付費分が 7,524 万 6,000 円。

次のページをお開きください。

2 項 1 目後期高齢者支援金等分 2,227 万 2,000 円。

3 項 1 目介護給付費分 863 万 8,000 円であります。

4 款 1 項 1 目共同事業拠出金は、退職者医療事業分担金としての納付額 90 円であります。

5 款 1 項 1 目財政安定化基金拠出金は、北海道胆振東部地震の局地激甚災害指定に伴う拠出金 285 円であります。

次に、6 款保健事業費 1 項 1 目特定健康診査等事業費 283 万 7,476 円は、例年同様の執行であります。次のページをお開きください。12 節の委託料は、特定健診 247 名、特定健診 2 次検診 40 名、歯科検診 4 名分となっております。

次の 2 項 1 目保健事業費 594 万 997 円は、7 節報償費から 12 委託料は例年同様の執行で、12 節の委託料はインフルエンザの予防接種 147 人、高齢者肺炎球菌の予防接種 4 人、40 歳未満の特定健診 13 人分であります。18 節負担金補助及び交付金は、国保連合会に対する特定健診受診率向上支援等共同事業負担金、19 節扶助費はインフルエンザの予防接種 5 人分の償還払い分であります。

次に、7 款諸支出金 1 項償還金及び還付加算金 1 目償還金、2 項 1 目延滞金は、いずれも科目存置。

3 項繰出金は、次のページをお開きください。1 目の直営診療施設勘定繰出金が、特別調整交付金のへき地直営診療施設運営費分 6,374 万 2,000 円の直営会計の繰出金であります。令和 2 年度分 5,376 万円で、平成 30 年度分の追加交付分 998 万 2,000 円を加えまして、繰り出しをしているところであります。

8 款 1 項 1 目予備費につきましては、充当はございませんでした。

歳出の合計であります。当初予算額 4 億 930 万 8,000 円、補正予算額 5,717 万 9,000 円で、予算現額は 4 億 6,648 万 7,000 円、支出済額は 4 億 5,557 万 6,774 円、不用額は 1,091 万 226 円、予算流用は 1 件で 34 万 6,499 円で、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー 32 の 1 から 3 に、国民健康保険事業勘定特別会計の歳入歳出の決算に係る資料がつけてありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次に、166 ページをお開きください。

166ページは、国民健康保険事業勘定特別会計の実質収支に関する調書。

単位は1,000円であります。歳入総額が4億5,742万5,000円、歳出総額は4億5,557万7,000円、歳入歳出差引額と実質収支額は同額の184万8,000円で、同額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第59号の説明を終わりました、次に、議案第60号の説明に入ります。

議案第60号は、令和2年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算についてであります。

決算書の説明資料から説明いたしますので、191ページをお開きください。

191ページの説明資料は、第1表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額3億4,396万8,000円、歳入の決算額3億4,651万5,537円、歳出の決算額3億3,196万283円、差引残額1,455万5,254円になりまして、これは令和3年度への繰越金となります。

なお、歳出の執行率は96.5%であります。

続きまして、第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款診療収入から合計までの科目ごとの令和元年度と令和2年度の金額及び比率などは表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計は調定額3億4,652万2,437円、収入済額3億4,651万5,537円で、前年度と比較しますと、1,507万5,088円の増となっております。このうち1款診療収入につきましては、収入済額が1億56万9,933円、歳入に占める割合は29.0%で、前年度比3.6ポイントの減、収入未済額は6,900円であります。

次のページを御覧ください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までの内容につきましては、表のとおりであります。令和2年度の歳出の合計につきましては、支出済額3億3,196万283円で、前年度と比較しますと1,699万9,615円の増、不用額は1,200万7,717円、執行率は96.5%でありまして、前年度より1.3ポイントの減となっております。

次に、第4表、令和2年度診療収入収納状況調べであります。

左側が入院分・右側が外来分で、入院分の収入済額は1,603万1,301円で、前年度と比較しますと75万6,324円の減。収入未済額はございません。外来分の収入済額は6,414万7,915円で、前年度と比較しますと、816万8,378円の減であります。

次のページ、御覧ください。

195ページが、第5表、令和2年度経費別支出内訳調べであります。

1、総務費につきましては2億8,045万8,888円、前年度と比較しますと776万3,916円の減、診療収入に対する割合は278.9%で、12.4ポイントの増。

2の医業費は4,750万317円、前年度と比較しますと2,181万9,157円の増、診療収入に対する割合は47.2%で、23.5ポイントの増であります。

196ページに移ります。

第2表、令和2年度患者数及び職員数等調べであります。年間の入院患者数は895人で、前年度と比較しますと23人の増、外来患者数は1万1,653人で684人の減となっております。

次のページをお開きください。196ページの続きになりますが、2の職員数、3の患者1人1日当たり診療収入調べ、4、患者1人1日当たり薬品費調べ、5、診療収入に対する投薬等の収入割合は記載のとおりでありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わりました。次に、事項別明細書の説明を行います。

175ページをお開きください。175ページ、歳入からの説明となります。

1款診療収入の収入済額は1億56万9,933円で、前年度と比較しますと758万3,222円の減、収入未済額は6,900円であります。

1項入院収入、2項外来収入は、先ほど第4表の診療収入収納状況調べで説明をいたしましたので、内容の説明は省略をさせていただきます。2項外来収入の次のページ、177ページをお開きください。中段になりますが、5目一部負担金収入の1節医療給付現年度の収入未済額につきましては、1件で6,900円であります。

次に、2款使用料及び手数料1項使用料1目診療所使用料は、1節行政財産使用料が科目存置。次のページをお開きください。2項手数料1目文書料は、診断書や介護意見書などで93万7,810円あります。

3款道支出金1項道補助金1目総務費補助金1節施設管理費補助金は、へき地診療所施設整備事業補助金で、X線テレビシステム更新に係る補助金825万円あります。

4款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入1節土地建物貸付収入は、職員住宅3戸分、47万2,800円。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金は1億5,182万4,000円で、その内訳につきましては、起債償還分が400万2,000円、財政対策分が1億2,927万2,000円、施設等整備分が568万5,000円、医療機器等整備分が1,286万5,000円あります。

2目国保事業勘定特別会計繰入金は、へき地診療所運営分6,374万2,000円で、令和2年度分が5,376万円と、平成30年度追加分998万2,000円あります。

次のページをお開きください。

6款1項1目繰越金は、前年度繰越金で1,647万9,781円。

次に、7款諸収入は、1項1目雑入423万9,213円あります。1節私用電話料

は5,070円。2節雑入は嘱託員報酬が360万円、患者外給食42万9,900円、医療機器使用料等10万3,510円などが、主な内容となっております。

歳入の合計であります。当初予算額3億4,918万8,000円、補正予算額マイナスの522万円で、予算現額は3億4,396万8,000円、調定額3億4,652万2,437円に対しまして、収入済額3億4,651万5,537円、収入未済額6,900円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出に移ります。

次のページ、183ページをお開きください。

歳出になります。1款総務費1項施設管理費1目一般管理費2億8,011万2,600円は、待合室のエアコン設置工事で507万1,000円、その他人件費、施設の管理運営計画費、事務経費等は例年同様の執行であります。不用額につきましては、実績に伴う予算額の執行残となりますが、1節報酬は看護師・調理員などの会計年度任用職員分71万7,881円。8節旅費は普通旅費で31万6,710円。10節需用費は施設管理用の燃料費137万5,688円、光熱水費、主に電気料になりますが、67万1,864円。12節委託料は、各種医療機器保守管理で54万9,446円が主な内容であります。

2項1目研究研修費34万6,288円は、例年同様の執行。

次のページをお開きください。

続きまして、2款医業費であります。1項医業費1目医療用機械器具費2,116万6,200円は、前年度に比べ2,095万5,600円の増で、これはX線テレビシステムの更新によるものであります。この件を除きまして、1目医療用機械器具費から5目寝具費まで、例年同様の執行であります。2目医療用消耗機材費の支出済額は1,110万8,814円で、前年度と比較しますと178万3,778円の増。不用額は12節委託料の在宅酸素管理委託料67万2,410円が主な内容。

2目医薬品費の支出済額は1,017万646円で、前年度比較しますと123万7,668円の減。不用額は、10節需用費の医薬品、予防接種ワクチン、血液製剤等で516万7,354円。4目検査費の支出済額は260万4,749円で、前年度と比較しますと13万951円の増。不用額は、12節委託料の血液検査等で57万9,251円あります。5目寝具費の支出済額は25万7,057円で、前年度と比較しますと6万6,634円の増であります。

次のページ、お開きください。

2項1目給食費219万2,851円は、前年度と比較しますと11万9,812円の増で、10節需用費の不用額は、給食費の賄い材料費40万254円が主な内容であります。

3款1項公債費1目元金397万180円と2目利子3万898円を合わせました支出額400万1,078円は、前年度と比べて294万4,374円の増であります。

議案説明書、資料ナンバー 8 に、起債残高等推移の一覧がつけてありますので、後ほど御覧ください。

4 款 1 項 1 目予備費につきましては、1 件、1 2 万 8, 1 9 6 円を充当しております。

歳出の合計になります。当初予算額 3 億 4, 9 1 8 万 8, 0 0 0 円、補正予算額マイナス 5 2 2 万円、予算現額は 3 億 4, 3 9 6 万 8, 0 0 0 円、支出済額は 3 億 3, 1 9 6 万 2 8 3 円、不用額 1, 2 0 0 万 7, 7 1 7 円、予算流用は 2 件で 4 万 3, 9 0 5 円、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー 3 3 の 1 と 2 に、陸別町国民健康保険関寛斎診療所運営状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思えます。

それでは次のページ、1 8 9 ページを御覧ください。

1 8 9 ページは、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計の実質収支に関する調書。

単位は 1, 0 0 0 円であります。収入総額が 3 億 4, 6 5 1 万 6, 0 0 0 円、歳出総額は 3 億 3, 1 9 6 万円、歳入歳出差引額、実質収支額は同額の 1, 4 5 5 万 6, 0 0 0 円でありまして、この額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第 6 0 号の説明を終わります。次に、議案第 6 1 号の説明に移ります。

議案第 6 1 号は、令和 2 年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算になります。

決算書の説明資料から説明をいたしますので、2 1 1 ページをお開きください。

2 1 1 ページの説明資料につきましては、第 1 表、令和 2 年度歳入歳出決算の総括であります。予算額 1 億 7, 9 1 6 万 7, 0 0 0 円、歳入の決算額 1 億 7, 9 1 1 万 1, 4 0 3 円、歳出の決算額 1 億 7, 4 2 0 万 6, 9 5 3 円、差引残額 4 9 0 万 4, 4 5 0 円でありまして、これは令和 3 年度への繰越金となります。

なお、歳出の執行率は 9 7. 2 % であります。

続きまして、第 2 表、歳入実績最近年度比較表であります。

1 款使用料及び手数料から合計までの科目ごとの令和元年度と令和 2 年度の金額及び比率などは、表のとおりとなりますが、令和 2 年度の歳入の合計につきましては、調定額と収入済額は同額の 1 億 7, 9 1 1 万 1, 4 0 3 円で、収入済額を前年度と比較しますと、8 3 3 万 6, 7 5 7 円の増となっております。このうち、1 款使用料及び手数料につきましては、収入済額が 5, 3 1 6 万 3, 6 0 0 円で、歳入に占める割合につきましては 2 9. 7 %、前年度比 1 ポイントの減、収入未済額はございません。

次のページを御覧ください。

第 3 表、歳出実績最近年度比較表であります。

1 款総務費から合計まで、表のとおりとなっております。令和 2 年度の歳出の合計になりますが、支出済額 1 億 7, 4 2 0 万 6, 9 5 3 円、前年度と比較しますと 8 1 6 万 5, 0 8 9 円の増、不用額は 4 9 6 万 4 7 円、執行率は 9 7. 2 % でありまして、前年度より 0. 1 ポイントの減となっております。

次に、214ページです。

第4表、水道使用料徴収実績調べであります。

陸別地区の調定額と収入済額は同額の5,298万7,600円で、前年度と比較しますと57万7,243円の増、このうち一般用の調定額と収入済額も同額の3,835万2,724円で、前年度と比較しますと39万293円の増となっております。

以下、営業用から臨時用まで記載のとおりでありますので、後ほど御覧をいただきたいと思ひます。

次に、下の表の令和3年3月末の用途別給水戸数であります。前年度と比較しますと、一般用が977戸で12戸の減、営業用が2戸減の26戸、事業用は1戸減の39戸、団体用と浴場営業用は変わらず、6戸と1戸となっております。合計は1,049戸と、全体で15戸の減となっております。

続きまして、次のページを御覧いただきたいと思ひます。

第5表、給水状況調べであります。

こちら前年度と比較しますと、年間の給水量の合計は29万8,177立方メートルで、2,078立方メートルの減。1日平均の給水量は817立方メートルで、3立方メートルの減。給水人口は2,048人で、41人の減。1人1日の平均給水量は399リットルで、7リットルの増となっております。

以上で、説明資料の説明を終わります。

続きまして、事項別明細書の説明を行います。

201ページをお開きください。

201ページは、歳入からの説明となります。

1款使用料及び手数料1項使用料1目水道使用料5,298万7,600円は、前年度と比較すると57万7,743円の増で、収入未済額はございません。

2項手数料1目水道手数料17万6,000円は、1節設計手数料の給水装置の工事審査手数料で、新設が8,000円の10件、改造が4,000円の1件、撤去が4,000円の6件の合計17件、11万6,000円。2節指定手数料は、給水装置の工事事業者の指定申請に係る審査手数料で、6件、6万円あります。

2款財産収入1項財産売払収入1目物品売払収入は、科目存置。

3款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金1億1,084万円は、建設改良費分が6,053万8,000円、財政対策分が4,879万円、経営戦略の策定に要する経費が151万2,000円の内訳となっております。

4款1項1目繰越金は、前年度繰越金で473万2,782円。

次のページ、御覧ください。

5款諸収入1項1目雑入67万5,021円は、下水道会計からの下水道料金の事務負担金であります。

6款1項町債1目簡易水道事業債は970万円あります。

歳出の合計となります。当初予算額1億8,297万7,000円、補正予算額マイナスの381万円で、予算現額は1億7,916万7,000円、調定額と収入済額は同額の1億7,911万1,403円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。

次のページをお開きください。

205ページからが歳出であります。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費は、1,757万7,645円で、令和2年度は経営戦略策定支援業務の委託と、公営企業法適用化に係る負担金の支出をしておりますが、その他の人件費、水道料金収納業務などの経費は、例年同様の執行であります。

なお、26節公課費は、消費税の納付分であります。

2款施設費1項施設管理費1目施設維持費3,171万7,505円は、水道施設の維持に係る経費が主な内容であります。令和2年度は、右側の表に掲載の管路施設管理の事業のとおり、水道仕切り弁等修繕や減圧弁室水道メーター設置を実施しております。それ以外につきましては、例年同様の執行となっております。この科目の不用額であります。10節需用費では施設維持に係る消耗品が27万112円、電気代が29万6,609円、修繕料は39万8,800円。12節の委託料の管路等修繕で120万7,400円が主な不用額の内容であります。

次のページを御覧ください。2目施設新設改良費866万8,000円は、右側の表に掲載の事業となっております。

続きまして、3款1項公債費1目元金1億29万3,216円と2目利子1,595万587円を合わせた支出済額が1億1,624万3,803円で、前年度と比べまして356万8円の増となっております。

議案説明ナンバー8に、起債残高等推移の一覧表がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

4款1項1目予備費につきましては、充当はございませんでした。

歳出の合計であります。当初予算額1億8,297万7,000円、補正予算額マイナスの381万円で、予算現額は1億7,916万7,000円、支出済額は1億7,420万6,953円、不用額が496万47円で、歳出の決算を終えております。

それでは次のページ、209ページを御覧ください。

簡易水道事業特別会計の実質収支に関する調書。

単位は1,000円であります。歳入総額が1億7,911万1,000円、歳出総額は1億7,420万7,000円、歳入歳出差引額と実質収支額は同額の490万4,000円でありまして、この額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第61号の説明を終わります。次に、議案第62号の説明に移ります。

議案第62号は、令和2年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算についてであります。

決算書の説明資料から説明いたします。231ページをお開きください。

231ページの説明資料は、第1表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額1億3,258万3,000円、歳入の決算額1億3,273万4,810円、歳出の決算額1億3,029万2,045円、差引残額は244万2,765円でありまして、これは令和3年度への繰越金となります。歳出の執行率につきましては、98.3%であります。

次に、第2表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款分担金及び負担金から合計までの科目ごとの令和元年度と令和2年度の金額と比率などにつきましては、表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計につきましては、調定額と収入済額が同額の1億3,273万4,810円で、収入済額を前年度と比較しますと、1,648万702円の減となっております。このうち2款使用料及び手数料につきましては、収入済額が2,531万3,575円、歳入に占める割合が19.1%で、前年度と比較しますと2.3ポイントの増で、収入未済額につきましてはありませんでした。

次のページを御覧ください。

第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までにつきましては、表のとおりとなっております。令和2年度の歳出の合計は、支出済額1億3,029万2,045円、前年度と比較しますと1,628万5,095円の減、不用額が229万955円、執行率は98.3%と、前年度と同じ率となっております。

次に、第4表、下水道使用料徴収実績調べであります。

陸別処理区の調定額と収入済額は、同額の2,524万9,575円で、収入済額を前年度と比較しますと28万1,603円の増、収入未済額はございません。このうち、一般用の調定額と収入済額は2,489万9,583円で、収入済額を前年度と比較しますと28万1,605円の増。公衆浴場用の調定額と収入済額は34万9,992円で、前年度より2円の減となっております。

次に、下の表の令和3年3月末現在の処理状況になります。

前年度と比較しますと、処理人口は1,743人で、36人の減。水洗化人口は1,607人で27人の減、水洗化率は92.2%で、0.4ポイントの増となっております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わり、事項別明細書の説明に移ります。

219ページをお開きください。

219ページは、歳入であります。

1款分担金及び負担金1項分担金1目下水道事業分担金47万5,000円は、前年度に比べて2戸増の19戸分であります。

2 款使用料及び手数料 1 項使用料 1 目下水道使用料は、収入済額 2,524 万 9,575 円で、未収入額はございません。

2 項手数料 1 目下水道手数料 6 万 4,000 円は、排水設備工事の審査手数料で、新設が 8,000 円の 6 件分、撤去が 4,000 円の 3 件分、改造が 4,000 円の 1 件分であります。

3 款国庫支出金 1 項国庫補助金 1 目下水道事業補助金 840 万 9,500 円は、陸別浄化センター改築更新実施設計委託及び陸別橋マンホールポンプ場ほか、機器更新工事に係る補助金であります。

4 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金 8,679 万 8,000 円は、建設改良費分 219 万 6,000 円、高資本費対策分 617 万 2,000 円、分流式下水道分 4,439 万 6,000 円、財政対策分 3,403 万 4,000 円の内訳であります。

次のページを御覧ください。

5 款 1 項 1 目繰越金は、前年度繰越金で 263 万 8,372 円。

6 款 1 項町債 1 目下水道事業債は 910 万円であります。

7 款財産収入 1 項財産売払収入 1 目物品売払収入 363 円は、機器更新に係る不用機器の金属売払い分であります。

歳入の合計です。当初予算額 1 億 5,195 万 9,000 円、補正予算額がマイナスの 1,937 万 6,000 円、予算現額は 1 億 3,258 万 3,000 円、調定額と収入済額が同額の 1 億 3,273 万 4,810 円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。

次のページをお開きください。

223 ページ、歳出です。

1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費 1,253 万 15 円は職員の人件費、下水道台帳修正など例年同様の執行で、26 節公課費につきましては消費税の部分であります。

2 款施設費 1 項施設管理費 1 目施設維持費 4,604 万 8,064 円は、下水道施設の維持に係る経費でありまして、右側の表に掲載の事業が主な内容となっております。

なお、この科目の不用額は、12 節委託料の施設整備改修及び環境清掃の 36 万 2,900 円が主な内容となっております。

次のページをお開きください。

3 款事業費 1 項下水道整備費 1 目下水道建設費 1,851 万 4,099 円は、右側の表に掲載の事業内容のとおりであります。

4 款 1 項公債費 1 目元金 4,633 万 452 円と 2 目利子 686 万 9,415 円を合わせました 5,319 万 9,867 円でありまして、前年度と比べますと 286 万 6,812 円の増となっております。

議案説明書、資料ナンバー 8 に、起債残高等推移の一覧表がつけてあります。後ほど

御覧ください。

5款1項1目予備費につきましては、充当はございません。

次のページを御覧ください。

歳出の合計となります。当初予算額1億5,195万9,000円、補正予算額がマイナスの1,937万6,000円で、予算現額は1億3,258万3,000円、支出済額は1億3,029万2,045円、不用額が229万955円で、歳出の決算を終えております。

次のページ、お開きください。

229ページ、公共下水道事業特別会計の実質収支に関する調書。

単位が1,000円であります。歳入総額が1億3,273万5,000円、歳出総額は1億3,029万2,000円、歳入歳出差引額と実質収支額は同額の244万3,000円で、次年度への繰越金となります。

○議長（本田 学君） 2時10分まで休憩します。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 2時08分

○議長（本田 学君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

早坂副町長。

○副町長（早坂政志君） それでは、続きまして議案第63号令和2年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算についての説明をさせていただきます。

決算書の説明資料から説明いたしますので、262ページをお開きください。

262ページの説明資料は、まず第1表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。予算額3億4,465万3,000円、歳入の決算額3億4,440万2,715円、歳出の決算額3億3,347万4,839円、差引残額1,092万7,876円でありまして、これは令和3年度への繰越金となります。歳出の執行率は96.8%であります。

次に、第2表、歳入実績最近年度比較表を御覧ください。

1款介護保険料から合計までの科目ごとの令和元年度と令和2年度の金額及び比率などにつきましては、表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計は、調定額3億4,501万335円、収入済額3億4,440万2,715円で、前年度と比較しますと3,388万1,512円の増となっております。

なお、1款介護保険料につきましては、収入済額が5,181万9,097円、歳入に占める割合は15%で、前年度と比較しまして2.7ポイントの減、不納欠損額は15万480円、収入未済額は45万7,140円であります。

続きまして、第3表、歳出実績最近年度比較表であります。

1款総務費から合計までにつきましては、表のとおりとなっております。令和2年度の歳出の合計につきましては、支出済額3億3,347万4,839円、前年度と比較しますと4,784万5,464円の増。不用額が1,117万8,161円、執行率は9

6.8%であります。前年比2.5ポイントの増となっております。

次に、第4表、介護保険料収納額調べであります。

左側が現年度賦課額、右側が滞納繰越分でありまして、現年度賦課額は、調定額が5,206万9,327円、収入済額5,178万8,317円は、前年度と比較しますと300万6,655円の減。収納率につきましては99.5%、前年度比0.2ポイントの減。収入未済額は28万1,010円であります。右側の滞納繰越分につきましては、調定額が35万7,390円、収入済額3万780円は、前年度と比較しますと18万3,600円の減。収納率は8.6%で、前年度比32.2%の減。不納欠損額が15万480円、収入未済額は17万6,130円でありまして、現年度分と滞納繰越分の収入未済額の合計は45万7,140円となっております。

以上で、説明資料のほうの説明を終わりにして、事項別明細書の説明に移ります。

240ページをお開きください。

歳入になります。

1款1項介護保険料1目第1号被保険者保険料は5,181万9,097円であります。令和2年度末現在の被保険者数は856人で、前年度より18人の減となっております。1節現年度分の収入済額は5,178万8,317円、収入未済額は5件、28万1,010円。2節滞納繰越分の収入済額は3万780円、不納欠損額は2件、15万480円。収入未済額は3件、17万6,130円であります。

2款国庫支出金1項国庫負担金1目介護給付費負担金5,216万8,132円は、歳出の介護給付費に係る施設分15%、その他20%分となっております。

2項国庫補助金1目調整交付金2,412万2,000円は、歳出の介護給付費に係る8.46%分。2目地域支援事業交付金333万6,895円は、介護予防日常生活支援総合事業分が176万3,400円で、介護予防日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が157万3,495円あります。3目保険者機能強化推進交付金は、地域包括支援センターが行う高齢者自立支援への取組に対する補助金で32万2,000円。4目保険者努力支援交付金は、予防健康づくりの取組を増加させる保険者に対する補助金29万8,000円あります。次のページをお開きください。5目の事業費補助金28万円は、システム改修に係る補助金。

3款道支出金1項道負担金1目介護給付費負担金4,599万3,447円は、歳出の介護給付費に係る施設分17.5%、その他分12.5%となっております。

2項道補助金1目地域支援事業交付金160万1,997円は、介護予防日常生活支援総合事業分が81万5,250円、介護予防日常生活支援総合事業以外の地域支援事業分が78万6,747円あります。

4款1項支払基金交付金1目介護給付費交付金8,101万7,000円は、歳出の介護給付費に係る27%分。2目地域支援事業支援交付金は、介護予防事業分で170万円あります。

5 款財産収入 1 項財産運用収入 1 目利子及び配当金は、基金利子 9 6 3 円。

次のページ、御覧ください。

6 款繰入金 1 項他会計繰入金 1 目一般会計繰入金 5, 2 5 4 万 5, 0 2 0 円でありま
す。1 節介護給付費繰入金は 3, 7 6 7 万 6, 0 0 0 円で、前年度より 3 4 2 万 7, 0 0 0
円の増。2 節事務費繰入金は 8 7 9 万 3, 0 0 0 円で、前年度より 4 1 0 万 6, 0 0 0 円
の増。3 節地域支援事業繰入金は 1 3 2 万 9, 0 0 0 円で、前年度より 1 8 万 1, 0 0 0
円の増。4 節低所得者保険料軽減繰入金は 4 7 4 万 7, 0 2 0 円で、前年度より 2 0 3 万
5, 0 2 0 円の増であります。これには一般会計から、国から 2 分の 1、道から 4 分の 1
の交付金が入っております。

2 項基金繰入金 1 目介護給付費準備基金繰入金は 4 0 2 万円。

7 款 1 項 1 目繰越金は、前年度繰越金で 2, 4 8 9 万 1, 8 2 8 円であります。

8 款諸収入 1 項延滞金及び過料 1 目第 1 号被保険者延滞金、次のページに移りまし
て、2 目第 1 号被保険者過料。2 項 1 目預金利子。3 項雑入の 1 目滞納処分費、2 目第
三者納付金、3 目延納金まで、科目存置となっております。4 目雑入 2 8 万 6, 3 3 6 円
は、介護扶助審査判定業務費 2 4 万 1, 3 6 0 円と、総合事業訪問 A 事業に係る利用者負
担金 4 万 4, 9 7 6 円であります。

歳入の合計です。当初予算額 2 億 9, 5 4 2 万 5, 0 0 0 円、補正予算額 4, 9 2 2 万
8, 0 0 0 円で、予算現額は 3 億 4, 4 6 5 万 3, 0 0 0 円、調定額 3 億 4, 5 0 1 万 3 3
5 円に対しまして、収入済額が 3 億 4, 4 4 0 万 2, 7 1 5 円、不納欠損額が 1 5 万 4 8
0 円、収入未済額が 4 5 万 7, 1 4 0 円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明に移ります。次のページを御覧ください。

歳出、1 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費 4 6 2 万 8, 9 7 3 円は、介護保険計
画策定業務 4 0 6 万 3, 5 6 5 円、介護保険システムの改修に係る北海道自治体情報シス
テム協議会への負担金 5 6 万 1, 0 0 0 円が主な内容であります。

2 項 1 目賦課徴収費 2 4 万 9 6 4 円。3 項 1 目介護認定審査会費 2 1 4 万 3 0 0 円、
2 目認定調査費 6 6 万円は、例年同様の執行であります。

なお、1 目介護認定審査会費の 1 1 節役務費は、主治医意見書 1 4 8 件分。1 8 節負
担金補助及び交付金 1 4 7 万 2, 2 0 0 円は、十勝東北部介護認定審査会の負担金。2 目
認定調査費 1 2 節委託料は、介護認定調査業務で 1 4 9 人分であります。

次に、2 款保険給付費であります。次のページ、御覧ください。。

1 項介護サービス等諸費 1 目居宅介護サービス給付費 1 億 2, 7 4 5 万 3, 5 5 0 円
は、前年より 3, 0 1 3 万 4, 4 1 0 円の増であります。延べ利用者は 1, 5 1 5 人で、前
年度より 1 2 5 人の増であります。2 目居宅介護サービス計画給付費 7 8 1 万 2, 7 4 0
円は、前年度より 2 2 万 5, 6 2 0 円の増、延べ利用者は 5 6 5 人で、前年度より 5 人の
増。3 目施設介護サービス給付費 1 億 2, 7 8 0 万 8, 5 3 8 円は、前年度より 4 3 2 万
9, 3 3 9 円の増、延べ利用者は 5 1 8 人で、前年度より 4 人の減。4 目居宅介護福祉用

具購入費 33万9,507円は、前年度より14万9,883円の増、利用件数は9件で前年度より2件の増。5目居宅介護住宅改修費 8万9,100円は、前年度より6万8,208円の減、利用件数は1件で、前年度より6件の減であります。

2項介護予防サービス等諸費 1目介護予防サービス給付費 18万4,630円は、前年度より16万3,656円の減、延べ利用者は171人で、前年度より15人の減。2目介護予防サービス計画給付費 5万2,200円は、前年度より5万9,000円の減、延べ利用者は120人で、前年度より13人の減。3目介護予防福祉用具購入費 1万7,548円は、前年度より10万5,556円の増。利用件数は5件で、前年度より2件の増。

次のページをお開きください。4目介護予防住宅改修費は、利用がございません。

3項その他諸費は、1目審査支払手数料 1万7,087円で、前年度より3,852円の増。

4項高額介護サービス等費 1目高額介護サービス費 5万3,281円は、前年度より7万6,766円の増、利用者は56人で、前年度より7人の増。2目高額介護予防サービス費は、利用がございません。

5項高額医療合算介護サービス等費 1目高額医療合算介護サービス費 2万4,589円は、前年度より4万1,523円の減。利用者は56人で、前年度より7人の増。2目高額医療合算介護予防サービス費は、利用がございませんでした。

6項特定入所者介護サービス等費 1目特定入所者介護サービス費 1,901万9,188円は、前年度より9万7,446円の増。延べ利用者は503人で、前年度より2人の減。

次のページに移ります。2目特例特定入所者介護サービス費、3目特定入所者介護予防サービス費、4目特例特定入所者介護予防サービス費が、いずれも科目存置であります。

続きまして、3款地域支援事業費 1項 1目介護予防生活支援サービス事業費 4万4,052,233円です。12節委託料は、訪問型サービスA委託料で、延べ利用者数は172人で、前年度より19人の増。18節負担金補助及び交付金は、第1号事業給付費の国保連への負担金。2目介護予防ケアマネジメント事業費 1万6,160円は、12節委託料総合事業の介護予防ケアマネジメント委託料で、町居宅介護事業所23件分。18節負担金補助及び交付金は、第1号介護予防支援事業給付費の国保連への負担金であります。

2項 1目一般介護予防事業費 6万3,486円は、12節委託料で社会福祉協議会へのふまねっと運動の委託、足寄町国保病院の理学療法士派遣委託のほか、予防事業に係る事務経費などが主な内容であります。

次のページ、御覧ください。

3項包括支援事業費、任意事業費であります。1目包括的継続的ケアマネジメント支

援事業費 28万7,640円につきましては、12節委託料介護予防サービス計画作成業務で、町居宅介護支援事業所46件、町外の居宅介護支援事業所12件、合わせて58件の委託であります。2目任意事業費115万7,704円は、12節委託料で社会福祉協議会に委託した介護用品給付事業及び食の自立支援事業であります。3目認知症総合支援事業費10万3,247円は、社会福祉協議会に委託した認知症カフェ事業で、延べ109人の利用がございました。4目生活支援体制整備事業費96万7,145円も社会福祉協議会への委託で、生活支援コーディネーター事業であります。

4項その他諸費1目審査支払手数料1万1,269円は、例年同様の執行であります。次のページ、御覧ください。

4款1項基金積立金1目介護給付費準備基金積立金は781万8,019円でありませ

ず。議案説明書、資料ナンバー7に、基金別増減の状況がつけてありますので、後ほど御覧をいただきたいと思

います。次に、5款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目第1号被保険者保険料還付金6万9,542円は、過年度の還付金9件分。2目介護給付費負担金等返還金1,716万3,752円は、令和元年度分の精算に伴う返還金でありまして、介護給付費分では国分850万854円、道分82万9,345円、支払基金分302万3,818円、町分が178万5,027円であります。地域支援事業分では、国分が76万4,574円、道分39万5,229円、支払基金分13万9,520円、町分21万3,219円、事務費分が町分で141万2,166円となっております。

6款1項1目予備費につきましては、充当はございませんでした。

歳出の合計になります。当初予算額2億9,542万5,000円、補正予算額4,922万8,000円で、予算現額は3億4,465万3,000円、支出済額は3億3,347万4,839円、不用額が1,117万8,161円、予算流用は3件で1万6,620円で、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー34の1と2に、介護保険事業勘定特別会計の歳入歳出に係る実施事業の資料がつけてありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次のページ御覧ください。

次のページ、260ページは、介護保険事業勘定特別会計の実質収支に関する調書。

単位は1,000円であります。歳入総額は3億4,440万3,000円、歳出総額が3億3,347万5,000円、歳入歳出差引額、実質収支額は、同額の1,092万8,000円でありまして、この額が次年度への繰越金となります。

以上で、議案第63号の説明を終わりました。次に、議案第64号の説明に移ります。

議案第64号は、令和2年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてであります。

説明資料から説明いたしますので、277ページを御覧ください。

277ページ、第1表、令和2年度歳入歳出決算の総括であります。

予算額4,941万6,000円と歳入歳出の決算額は、同額の4,727万6,313円で、差引残額はございません。歳出の執行率は、95.7%であります。

次に、第2表、保険料収納額調べを御覧いただきたいと思えます。

左側が現年度賦課額、右側が滞納分賦課額でありまして、現年度賦課額は、調定額2,928万3,600円に対して収入済額2,910万9,573円、前年度と比較しますと48万7,027円の減で、収納率は99.4%、前年度比0.2ポイントの減、収入未済額は17万4,027円であります。

続きまして、第3表、歳入実績最近年度比較表であります。

1款後期高齢者医療保険料から合計までの科目ごとの令和元年度と令和2年度の金額及び比率などは、表のとおりであります。令和2年度の歳入の合計は、調定額4,745万340円、収入済額4,727万6,313円で、前年度と比較しますと13万3,384円の増となっております。

このうち、1款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額が2,924万5,973円、歳入に占める割合は61.9%で、前年度と比較しまして1.1ポイントの減。収入未済額は17万4,027円でありまして、収納率は95.7%、前年度比0.3ポイントの減となっております。

第4表、歳出実績最近年度比較表を御覧ください。

1款総務費から合計まで、表のとおりとなっております。令和2年度の歳出の合計は、支出済額4,727万6,313円、前年度と比較しますと13万3,384円の増。不用額は213万9,687円、執行率95.7%で、前年度より0.8ポイントの減となっております。

以上で、説明資料のほうを終わります。事項別明細書の説明を行います。

167ページをお開きください。

167ページ、歳入であります。

1款後期高齢者医療保険料であります。令和3年3月31日の被保険者数は533人で、前年度より23人の減となっております。1項後期高齢者医療保険料1目特別徴収保険料は、1節現年度分の収入済額1,774万9,100円で、前年度より111万5,692円の増。2目普通徴収保険料1,149万6,873円は、1節現年度分の収入済額が1,136万473円で、前年度より160万2,719円の減。収入未済額は2件、17万4,027円あります。2節滞納繰越分の収入済額は13万6,400円で、前年度より4万200円の増となっております。

2款繰入金1項他会計繰入金1目事務費繰入金370万3,974円は、広域連合の事務費分が177万6,000円、町単独分が192万7,974円あります。町単独の内訳は、インフルエンザ分が135万1,000円、健康診査分が55万4,575

円、その他事務費分としまして2万2,399円となっております。2目保険基盤安定繰入金1,389万7,374円は、北海道の4分の3分が1,042万3,030円、町の4分の1分が347万4,344円の内訳であります。

3款諸収入1項延滞金及び過料1目延滞金、2項償還金及び還付加算金、次のページに移りまして、1目還付加算金、2目保険料還付金は科目、存置。3項1目雑入41万2,992円は、広域連合からの健康診査委託料38万6,050円、長寿健康増進事業分4,172円、特別調整交付金分2万2,770円であります。

4款国庫支出金1項国庫補助金1目事業費補助金1万6,000円は、高齢者医療制度円滑運営費補助金であります。

歳入の合計です。当初予算額4,996万4,000円、補正予算額マイナスの54万8,000円で、予算現額は4,941万6,000円、調定額4,745万340円に對しまして、収入済額が4,727万6,313円、収入未済額が17万4,027円で、歳入の決算を終えております。

続きまして、歳出の説明を行います。

次のページを御覧ください。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費240万1,858円は、例年同様の内容の執行であります。12節委託料191万9,053円は、健康診査64人、インフルエンザの予防接種386人、共同電算処理業務となっております。18節負担金補助及び交付金8万2,940円は、高齢者医療制度見直し等によるシステム改修に係る北海道自治体情報システム協議会負担金。19節扶助費3万8,850円は、インフルエンザ予防接種の償還払い12名分であります。

2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金4,487万4,455円は、前年度より18万2,624円の増となっております。

3款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目保険料還付金、2目還付加算金は、科目存置。

次のページ、御覧ください。

4款1項1目予備費につきましては、充当はございませんでした。

歳出の合計となります。当初予算額4,996万4,000円で、補正予算額マイナス54万8,000円、予算現額は4,941万6,000円、支出済額は4,727万6,313円、不用額が213万9,687円で、歳出の決算を終えております。

なお、議案説明書、資料ナンバー35に、後期高齢者医療特別会計のフロー図がつけてありますので、後ほど御覧ください。

それでは、次のページ御覧ください。

275ページは、後期高齢者医療特別会計の実質収支に関する調書。

単位は1,000円となっております。歳入総額、歳出総額は同額の4,727万6,000円、歳入歳出差引額、実質収支額は、ゼロ円となっております。

以上で、議案第58号から議案第64号までの説明を終わります。

以後、御質問によってお答えしたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

以上であります。

○議長（本田 学君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでした。

令和2年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点があれば、この際、質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（本田 学君） 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

令和2年度各会計の決算認定に係る質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、9月14日に行います。

◎延会の議決

○議長（本田 学君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会し、特別の事情が生じない限り、13日までは休会とします。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（本田 学君） 異議なしと認めます。

◎延会宣告

○議長（本田 学君） 本日は、これにて延会します。

延会 午後 2時36分

以上、地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

議長

議員

議員

